西門雜話

ケレンスキ政府の時からレニン政府の初期にかけてペトログラード、モスクワ邊に居た佛蘭西人某が書いた話を見た處が、予の平生の疑團を氷釋せしめた事や、又臆測を確かめた事もあつて面白く感じた節が少くなかつたから、あそこゝ意譯して見よう。

▲吾々佛蘭西人は、露西亞人民は尚武の氣象に富みたりとのみ思ひ込んで居たが、夫れは大變な間違ひであつた。成程暴虐こ思はる迄に剛氣なる將帥の下に置かるれば、露兵は勇猛にして天晴ヒーローと呼ばるゝ程の働きをさへ爲す事がある。目下の戰役も之を證明するが、莫斯科に打ち入つた那翁や其將校等は其の敵人の艱苦に堪ふるの能力を稱讃し措かざりしは人の記憶する所であるが、歐羅巴中をあちこち戰爭をして廻りて何れも勇氣の目利は出來る人々であるが、其の見識はこの通りである。然し一旦紀律が弛みて其の本能を肆にせしむればロシヤは忽ち戰鬪嫌ひの本性に返つて仕舞ふ。ロシヤの歷史や傳說中に此の消極的平和主義を證明する事は澤山あつて、其歷史も傳說も此の證明を集めたものこいふてもよい程である。『つまらぬ講和でも、よい戰爭にもまさる』こいふ諺はロシヤ人民の本性をよく寫た者で過激主義者一派の非戰は全くこゝに在るので、レニン一派の成功の奥の手は是れである。決して他に求むべからずである。天然の富は利用しきれぬ程ありて、何も外に仰ぐには及ばぬから、教育で以て祖國に付いて何程か物質をはなれた觀念でも持たせぬ以上は此堪忍深くて惰弱な人民は戰爭などいふ骨の折れる事に氣の向かぬのは少しも不思議はない。そして又其日〳〵の無事安穩を念ふの外に、何等の考へもなくて、思慮單純な人民が大革命に遭ふて、其精神の非常に擾亂された事を忘れては、ロシヤ近來の種々の出來事はよく理會は出來ぬ。

▲ロシヤ人民は絶對無知の狀態に置かれて動くことが出來なかつた。職工百姓兵卒及ブルジョワに至る迄所謂政治に付いては勿論、單に國事に付いても集會して話する事は禁ぜられてあつた。そこに突然自由と云ふことになつた。そして今無くなつた許りの舊制度に代るべき新制度を急に見立てねばならぬと云ふので各其考へを述べる。我も我もと其の考案を持ち出して、無我夢中で其の說を主張して讓らぬ。其の說は曾て他人の前に述べたこともなければ、自然他人の意見を聞いたこともなく、多年の間唯獨で其心の中で大事に育て上げたものであるから、偏狹のものと信じて固執するのも無理はない。西歐諸國であれば何か演するか出版するかして世に問ふことにする。其考へが若し今のロシヤ人が主張する樣なものであつたら。考へそれ自體は正しく適ひ且つ美であるかも知れぬが實行の段になると忽ち不可能の怪物となることを說き示す者が屹度ある。然るにロシヤでは誰にも夫が出來ぬ仕組になつて居たのだから仕方がない。こんな處にレニン、トロツキの輩が研究の積んだ理論を外國で仕入れて、好しや祖國は亡びなくてはならぬとしても、この眞理は是非共遂行せんと意氣込んで現れ出たのである。

譯者注　レニンの學說は一概に外國仕入とは云ふ可からず如何にもマルクスの學說を基礎とはするが、これは外國に行かぬでも學べたものである然るに彼等は是迄は露國には居れなかつたのである。

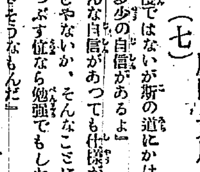
屑屋の籠　硯汀生

旅日記(其の三)

周防灘より釣島水道へ

周防灘と伊豫灘とは、互に隣接して、豐後の姫島が、國東半島の北東端から約一里の海上に横はり、遙に周防の祝島と相對して、此の兩灘の境に在ることゝなツて居る。姫島の東端なる柱ヶ嶽の頂には、姫島燈臺が高く頭に峙ち、白く日光に輝いて居るのが見ゆる。午後四時二十分に船は祝島沖を過ぎて伊豫灘に入つた。そして宇和島、星島、平郡島、小水無瀨島、由利島などを、交る〳〵左右に望みて、午後の七時には伊豫灘の北東端なる釣島の燈臺を右舷に見た。

釣島沖は往年軍艦千島(艦長鏑木誠)が英國の商船『ラヴエンナー』と衝突して沈沒した處である。右に見ゆるのが興居島で伊豫の小富士と呼ばれ、海拔九百五十尺の極めて可憐な圓錐式塊狀火山である。松山市や道後温泉の出入り口として樞要なる高濱の港は、實に此島の在るが爲めに波靜かなのである。時に日は、もう水と共に夕靄に包まれて居たが、若し晝間であつたならば、右舷遙かに松山の城が老松の鬱蒼たる勝山の頂上に望み得らるゝのである。城は慶長二年、加藤嘉明の築いたもので其の天守閣と二三の櫓門とは、今も尙ほ存じて居る。伊藤春畝公は、『山下人家山上城、平蕪十里與天晴、斜陽紅返雲間雪、石鐵峯頭白似鯨』と賦せられた、蓋し眞景である。余も曾て一時に、屢此の名城に登つて、天守閣の窓より美しいパノラマを見たことがある。船の野忽那島を過ぐる頃には、日全く暮れて、島の燈光を左舷に眺めた。此の島は天慶年間、伊豫掾藤原純友が叛いて、南海を劫掠した時、追捕使小野好古の本營を置いた處であるさうだ。此の夜、海靜かに、風涼しく、月影の小波に砕け、大小無數の島嶼が、波間に點在して、船の進むにつれて隱見するさま、亦一段の趣きがあつた。嗚呼、寢ぬるに惜しい瀨戸內海の月夜!



小說 運命(七)　原田東風

『自慢ではないが斯の道にかけては多少の自信があるよ』

『そんな自信があつても仕樣がないじやないか。そんなことに暇をつぶす位なら勉强でもしたら好さそうなもんだ』

熊倉はたしなめるやうに言つたが、その實自分にはさうした趣味がない、ない譯ではないがさうした趣味や娛樂に耽るだけの時と心の餘裕がない。青木は常に窮乏の中にゐながら、尙ほそれだけの餘裕がある。それを思ふと自分が名利や衣食の爲めに絶へず齷齪してゐるのが、何だか詰らぬやうな氣もすれば青木の手前恥かしいやうな氣持ちもした。

『ウム、尤もこんなものを弄くるのも決して惡くはないよ、正直に言ふと僕だつて斯ういふものは非常に好きなんだ。好きだから何うかして早くこんなものを弄くるやうな身分になりたいと思つて、切りに努力してゐるんだが、さて何時になつたらそんな身分になれるかなア』

熊倉は眞面目になつて我知らず嘆息する、が、熊倉のこの言葉は僞はらぬ眞の告白であつた。

『何んだ、君などが文句を言ふことがあるか、默つて今の會社に、くッ付いてゐさへすれば、もう遠からず左團扇で暮せるんじやないか。僕はホントウに君の境遇が羨ましいよ。僕などもせめて十年前に君のやうな考へが起ると、今になつてこんな苦勞や貧乏をしなくたツて好かつたんだけれど……』

言ひながら青木は鍋や皿を火鉢の前に運んで、始めてゆツくりと胡坐を搔く。

『なアに、君等の思ふ程暢氣ではないよ、之で仲々人知れぬ苦勞や不快があるんだからなア……』

『そりやア仕方がないよ、人間奉公をすれば何處へ往つたツて不快や苦勞はあるんだから』

『それはさうだがな……まア一杯注がう……』

『さう言へば斯うやつて君と飮むのも久しぶりだなア』

青木は杯を受けながら沁々と懷しさうに言つた。

『さうだな、僕も來たい〳〵と思つてゐたけれど、何うも忙しいもんでなア』

『忙しいのは結構だよ、僕のやうに閑人でも困るからなア』

『イヤ、少つと閑人になつて見たいよ、今日は餘り天氣が好いから浮つかり出かけたんだけれど、さもなければ滅多に出ることもないんだ』

『フム……さう言へば實際好い天氣だなア、僕も默つてゐて知らなかつたが、今出て始めて分つた』

言ひながら靑木は思はず空を眺める、空は益々長閑に麗かであつた。

『さうだらう、だからこんな日に家にゐるのは君位なもんだと言ふんだ』

新刊紹介

▲大正川柳(十年記念號)卷頭に柳樽寺川人の寫眞並に五十四家の金言扇說に添へ井上劍花坊の十週年記念卷頭の句として『遊廓より一年のびてまた春より』あり其他內容頗る豐富なり(本號に限り金四十錢▲東京芝區愛宕町三の三柳樽寺川柳會

▲鷄林醫事衞(八月號)金參拾錢▲咸鏡南道咸興面西陽里鷄林印刷社

▲海友(八月號)金貳拾五錢▲大連市寺內通五九大連海務協會

▲ジエントルマン(一號)金貳拾錢▲東京神田區表猿樂町二共社

▲國粹(九月號)金六十錢▲東京神田區橋本町一ノ一國粹出版社

▲實業界(八月號)金四十錢▲東京麹町區中六番町五五共社

本紙定價　一部金五錢　一ケ月金壹圓　前金六ケ月分同七圓六拾錢　前金一ケ年分同拾四圓
廣告料　五號十四字詰一行一圓卅錢　特別二十錢增
發行兼編輯人　泥谷良次郞
印刷人　小川三之介
發行所　京城太平通一丁目　合資會社京城日報社
電話長六千九番・六千九番二　振替京城三〇〇番

最新刊
日本人の使命と勤勞道　小林眞吉著　二、七五〇
鳥　吉川すさの著　二、八〇
蝙蝠　三、八〇
我等の心　モウパッサン原著　二、六四〇
偉人の青年時代　森谷徐雄著　一、五〇
白蓮自選歌集　三、五〇
吉井勇選集　與謝野晶子選　一、四三〇

京城　大阪屋號　振替京城一五七番

廢品被服拂下　一編上靴他參拾貳點
詳細は當隊備付の入札心得書にあり
大正十年九月　奉天守備隊長

實業之日本

神戸勞働爭議の眞相と其批判
(一)三菱造船に於ける爭議眞相　三菱造船取締役會長　武田秀雄
(二)川崎造船に於ける爭議眞相　川崎造船常務取締役　永留小太郎
(三)勞資双方の執れる態度批判　浦賀船渠專務取締役　今岡純一郞
(四)現狀視察者の嚴正批判　工學博士　某會社重役
東宮御歸朝と青年の發奮動機　社長　增田義一
日本青年を悲する偶像　大迫元繁
濫造の物濫造の人　大田黑重五郎
鐘紡定款改正と米山案　太陽生　淸水文之輔
パカード會社の從業規約　法學博士　浮田和民
工場委員會制度　久保田明光
小作人の組合　記者
休日統一實例　豐岡町長　繁田武平
勞資協力の模範工場　五十嵐生
特掲
留學生の見た多忙生活　吉田學士
旅の印象五色の皿　伊東博士
最適度の腦の使用量　三宅博士
工場主と職工の過失の責任　法學士
唯一の南洋に有望なる事業　淺野總一郞
使用人から重役となつた人
彼が社長となる迄の苦心談
株値から見た新設會社の內容　水芳
帝國火藥・關東水力・足利紡績・大同電力
(財界片々)百圓以上の株　其批判
(經濟情報)洋紙界前途　北斗
九月一日號　一冊卅錢郵稅一錢　半年分一圓五十錢　東京京橋　實業之日本社　振替東京三三六番

本邦創始　製圖家養成講習錄　最新式通信教授にて收入多大なる製圖家を短期に養成　詳細規則無代進呈　東京日本橋　通信工手學校

賜　十四若宮殿下平素御愛讀
國定課外讀本
第二學期が來ました　兒童が讀んで面白く　知らず〳〵勉强の出來る　小學全科統合の家庭敎科書
本書は國定敎科書と併用すべき特種の課外讀本であります。
第一學期用　第二學期用　第三學期用
尋常一學年　尋常二學年　尋常三學年　尋常四學年　尋常五學年　尋常六學年
全部十八册　定價金十一圓　金五十五錢　送料金六錢
大賣捌　京城大阪屋號其他書店
東京神田　明治出版社　振替東京二五七〇番
目錄進呈

正同　金四十圓　金付白
萬年筆各種
改正大値下
インキ注入式一圓九十錢二圓四十錢二圓六十錢
出入式三圓八十錢四圓八十錢六圓八十錢
吸入式五圓・七圓・八圓
婦人用二圓九十錢五圓八十錢八圓八十錢
其他數百種取揃へ居候
修理は完全に修理仕る可候
特許粉末インキ　赤黑共五十錢送四錢　普通インキの四倍で優良品
京城本町二丁目　ボツヤ書店　振替二三二一

▲他に未だ類のない自宅最新事業
意外　有利事業　發見
無資本同樣誰でも出來る國益事業を公開す從來のインチキ職業とは全然異なる何人にても就業せしむ詳細ハガキで申込めば直ちに通知す
最も收入多大なる新發見　地方獨占權あり
東京府幡ヶ谷町　岸上商會

營業科目
活版、石版、製本機械
製作販賣並に電動機諸具
東京市神田區三崎町三ノ一　電話九段二〇六五番
工場　京城府黃金町三ノ一八四　電話長三四六八番
岩田鐵工所
御望ニ依リ機械ノ交換又ハ修繕等御便宜相計
中古機械ハ小ハ半紙判ヨリ大ハ四六全紙迄新古取揃居候

▲文學博士喜田貞吉主筆　九月號
民族と歷史
喜田博士の古代民族に就ける京都及彌生式土器と其の周囲……
民族論を掲げ……田考……左……部落民解放
第二號　部落民研究號
第一號　特殊部落研究號
第六卷　鮮滿研究號
發行所　東京小石川區表町　日本學術普及會

早稻田大學講義錄

新學期開始　入學絕好機

總長大隈侯爵指導統裁ニ見よ!改造時代の要求に應ずる新人養成の五大講義錄ニ大特典提供

智識の民衆化!! 獨學青年活躍の基礎は是れ
政治經濟科
現代國民の為に必要な實典にして各種受驗者の為に缺く可からざる資料
十月六日發行　第一號　十八ケ月修了

各種受驗者一般に國民の為に法理を解說せる無二の好指針
法律科
十月七日發行　第一號　十八ケ月修了

記者文學者中等教育志望者の養成に資する唯一機關
文學科
十月八日發行　第一號　十八ケ月修了

中學校を入學せんと欲する者の唯一自宅獨學機關
中學科
十月一日發行　第一號　二箇年修了

商業青年が良師友を求むる獨學機關
商業科
十月十日發行　第一號　十八ケ月修了

講義見本と規則書は東京早稻田大學出版部へ
入學金全免

賢所に報告の御儀

【東京電報】三日御歸朝あらせられたる東宮殿下にて其夜安らけき御夢を高輪御所にて結ばれ四日朝は六時と云ふに既に御起床あり賢所及び皇靈殿に御親ら外遊を了し御歸朝の御報告あらせらるべく午前八時五十分閑院宮殿下、三日同珍田伯以下各供奉員を隨へさせられ東宮御所御出門、沿道の兩側を以て宮中に參內あり當日參入の光榮に浴したる全國青年團、在鄕軍人團學校生徒は午前八時早くも乾門より參入し賢所前廣場にて堵列歡迎し奉れり殿下には宮城に入らせられたる後直に賢所前の御便殿にて神々しき御束帶に御召代あそばされ九條掌典長の御前導にて賢所をはじめ皇靈殿、神殿に御參拜あり暫らく御默禱裡に御報告を了らせられ次に閑院宮殿下及珍田供奉長以下各供奉員に賢所參拜を御許しあり斯くて更に陸軍少佐の御裝ひに御召替へあり直に東京驛より日光なる兩陛下の御許に向はせらるゝ事となり自動車に召させられ乾門近く進ませらるゝや整列せる青年團、在鄕軍人團學校生徒の行列の前にてピタリと車を停めさせられ御親ら自動車を降り立たせられ入江侍從長奈良東宮武官其の他を隨へさせられ御閱兵の形式にて御徒步の儀列前を通御あり各團員の捧ぐる最敬禮に御會釋を賜はり了つて自動車に召させられ午後十時東京驛より日光に向はせられたり

東宮日光行啓

【日光電報】東宮殿下の行啓を待つ日光の町は此光榮に歡喜して驛前には大アーチを造り御用邸附近の八幡社內にはイルミネーションを點じ沿道には大小國旗を飾りて奉迎準備全く整ふ、午後一時四十五分煙花高く打ち揚げらるゝや御召列車は日光驛に到着す陸軍少佐の軍裝を召させられたる殿下には濱尾東宮大夫關屋宮內次官供奉の下に御靜かにプラットホームに降り立たせられ皇后陛下御使西邑皇后宮主事、澄宮御使東傅育官、御用邸に供奉中の金田書記官等に對し輕き御會釋を賜ひ濱尾太夫御陪乘、自動車に召させられ直に田母澤御用邸に向はせられたり之より先驛前より御用邸に至る沿道には青年團、赤十字社員、愛國婦人會員、一般市民堵列して奉迎し自動車通御と同時に萬歲を三唱したるが殿下には之に對し一々擧手の禮を賜ひ二時御用邸に到着遊ばされたり此日光の町は全く歡喜に滿ち瑞氣は隨所に溢れたり殿下御用邸に入らせらるゝや學校生徒は旗行列をなし停車場より進みて御用邸前に至り殿下の御萬歲を三唱し解散したり又午後七時三十分よりは殿下の御無聊を慰め奉るべく御用邸の對岸なる虫鳴廣場にて無數の煙花を打ち揚げ御覽に供し青年團小學校生徒一千餘名は提灯行列をなし御用邸內の通過を許され萬歲を三唱して心からなる奉祝に歡喜せり

東宮殿下御外遊

ご支那紙の論評

【上海三日發電】東宮殿下御歸朝に對し中華新報は左の論評を揭げたり

日本は久しく神秘的君主國として宮廷は中古の風あり軍閥は君主統裁權の裏にかくれて國政を處理し議會は干涉の權なし然るに國民は既に覺醒して之に甘んぜず吾人は皇太子殿下今回の御外遊が日本改造に機會を與へたるものなる事を信ずるものなり日本が平和的、民主的國家となれば日支親善は求めずして實現されん

ヤップ問題經過

米國日本の委任統治權承認

【紐育二日發電】東京よりの報道に依ればヤップ島問題に關して日米政府間に成立したる協定案に依り米國政府はヤップ、グアム間の海底電線の完全なる管理權並にヤップ島に於ける海底陸上電信線の管理權を得る其の代り米國は日本のヤップ島委任統治權を承認する豫定なりと而してヤップミナト間の海底電線の管理は日蘭兩國政府の協議に依りて解決される筈なり當地に於ける和蘭人側より出でたる消息に依りて察するに、此の日蘭間の協議に依りてヤップミナト間の海底線の內ヤップよりの通信は殷々部分的に和蘭政府の管理となるかも知れずと云ふ

米國新航空戰術試驗

【華盛頓一日發電】米國陸軍飛行隊は新航空戰術試驗として來る九月十五日夜間廢柄軍艦アラバマ號を標的として爆彈投下を試むる筈なり右は飛行機より最初卅萬燭光の光力を有する照光を一齊に放射する仕掛にて當日第一の見物なるべし而して實戰に於ては敵の軍艦乘組員の眼を眩惑せしむる强力なるもの也と

伊東子も出馬か

外調より一名出席せん

【東京電報】帝國政府の全權隨員に關しては原首相と內田外相との協議の結果略決定したるもの、如く內田外相の出馬は既定の事實として外交調査會員中より一名詮衡の要ありとし其の結果伊東巳代治子に交涉し同子が承諾し次第決定すべく其他幣原、林、石井三大使の任命を見るべくこは來る六日の閣議に於て協議さるべく決定の上は直に發表すべしと

饑餓救濟の途なし

【巴里三日發電】最近リガより到著せしバルチック諸洲米國赤十字委員の談によれば全世界が救濟の途を講ずるも二百萬以上の露西亞人は餓死すべし罹災民に對し一日一封度のパンを給するとして一日の總入費百萬弗に達するならんと

羅馬尼露に對し開戰

【哈爾賓四日發電】莫斯科よりの報によれば羅馬尼は勞農露西亞に對し敵對行動を開始したるもの、如く來年度の徵兵適齡者を召集し常備軍はベッサラビヤに輸送されつゝありと

愈々本舞臺に入る

大連會議四日より

【大連四日發電】大連會議は四日を以て愈本舞臺に入りユーリン氏に代りペトロフ齊多政府の正式全權となる午前十時開會するや松島全權は從來過激派政府の我國に對する不信行爲非人道的行爲につき縷說し極東の治安維持と居留民保護のため軍隊を集め居る理由を述べ更に極東共和國の不秩序を痛擊したるがペトロフ氏は日本軍隊の駐屯が必ずしも正當ならざる事を力說し其他辯明努むる所あり結局極東問題に對する折問答になり終りに會議に對する正式打合をなし零時三十分閉會せしが今後の推移如何によりては日本より莫斯科政府代表の出席を要求するに至るべし

ユ氏齊多に召還さる

【大連電報】過日迄日露交涉の衝に當りたるユーリン氏が突如齊多に召喚せらるゝに至りたる內部の事情を聞くにユーリン氏の對支折衝が全然失敗に了りたるよりユーリン氏は齊多政府より信任を失ひたる爲なりと

ユ氏事務引繼の會議

【大連電報】大連會議はペトロフ氏一行來著と共に兩國代表は暗中模索の有樣なりしが突如三日に至り露國側より會見を申込み來れり仍つて三日午前九時より會議を開會する事に決し同十時より大和ホテル二階大廣間に開議露國側よりはユーリン、ペトロフ、アントノフ、コザエンコフ、アノヒエン外四名、日本側よりは松島全權外八名列席會議し零時三十分散會せり內容に就て聞くにユーリン氏は從來の會議を露國全權ペテロフ氏に引繼ぐべく日本側の諒解を求め引繼を了し今後の會議續行に關し意見の交換を爲したるもの、由なり卽ち右引繼の終了を告げたるのみにて正式の交涉はなかりしと確聞す

大連會議を認めず

浦鹽政府日本へ通牒

【浦鹽四日發電】浦鹽政府は大連會議に關し在東京クルペンスキー大使をして日本政府に覺書を交附せしめて曰く『日本は齊多政府と大連會議を開催せるも全極東住民の名に依る沿黑兩州臨時政府は之に反對し日本と齊多間に結ばれたる經濟其他一切の條約を認めず』と

兩艦舞鶴歸港

小栗長官現職に留る

【東京電報】東宮御召艦にて又供奉艦として大任を果したる鹿島香取の兩艦は橫濱より六日橫須賀に入港し二日間在泊の後所屬舞鶴軍港に歸港し直に修理に著手する由なり

又小栗司令長官は當分現職に留まり十月中旬より行はるゝ海軍演習に於て栃內大將の率ゆる第一艦隊、鈴木大將の率ゆる第二艦隊を攻擊軍とする青軍に對して防禦軍を指揮する司令長官たるべしと

公正會幹事會

【東京電報】貴族院公正會にては五日午前九時より幸倶樂部に於て暑中休暇明け第一回の幹事會を開き政務調査及太平洋問題に就き特別委員の案を基礎とせる委員會の調査に基き會の態度を天下に鮮明にする件其他々の協議を爲せり猶同會臨時總會は多分十五日頃開催せるべし

產業調査會愈成立

五日委員及幹事發表

臨時朝鮮產業調査會は久しく總督府に於て準備及び委員の詮衡中なりしが四日を以て委員全部の承諾を見たるを以て夫々委員の辭令を交付すると共に左の通り之れを發表せり

產業調査委員會委員

內地在住者

三井代表者　團　琢磨
三菱代表者　木村久壽彌太
第一銀行頭取　佐々木勇之助
日本興業銀行總裁　志村源太郎
鐘ヶ崎紡績會社々長　和田豐治
東拓總裁　石塚英藏
代議士　井上角五郎
朝鮮郵船會社々長　原田金之祐
住友總支配人　鈴木馬左也
大阪商業會議所會頭　山岡順太郎
明治鑛業會社長　松本健次郎
農商務省工務局長　四條隆英
同技師　松波秀實
大藏省理財局長　小野義一
拓殖局次長　元田敏夫
法制局參事官　松村眞一郎
東京帝大教授　上野英三郎
同　岸上鎌吉
同　加茂正雄
北海道帝國大學教授　高岡熊雄

朝鮮在住者

侯爵　李完用
伯爵　宋秉畯
朝鮮銀行總裁　美濃部俊吉
朝鮮殖產銀行頭取　有賀光豐
京城商業會議所副會頭　釘本藤次郎
不二興業會社長　藤井寛太郎
滿鐵京城管理局長　久保要藏
代議士　松山常次郎
朝鮮皮革會社長　賀田直治
朝鮮商業銀行頭取　趙鎭泰
漢城銀行專務取締役　韓相龍
忠淸南道實業家　李基升
慶尙北道實業家　鄭在學
慶尙南道實業家　香椎源太郎
全羅北道實業家　朴永根
全羅南道實業家　玄基奉
黃海道實業家　松田貞次郎
平安南道實業家　富田儀作
平安北道實業家　崔熙淳
咸鏡南道實業家　趙炳烈
總督府殖產局長　西村保吉
同財務局長　河內山樂三
同參事官　和田一郎

臨時委員

總督府內務局長　時實秋穗
同學務局長　柴田善三郎
同遞信局長　竹內友治郎
同鐵道部長　弓削幸太郎
同土木部長　原靜雄

幹事

總督府秘書官　守屋榮夫
同商工課長　田中卯三
同農務課長　篠原英太郎
同鑛務課長　黑木吉郎
同遞信海事課長　野手耐
同鐵道部監理課長　[illegible]
同土木課長　澤崎修
同理財課長　須藤素
同財務課長　矢鍋永三郎

尙委員長は官制に依り水野政務總監之れに當ることなれり

調査會と諮問事項

主なる事項は十七項　來る十五日より六日間開會

西村殖產局長談

今回の產業調査會は內地の有力なる實業家學者等も參會せらるゝ都合であるし又總督府として此際成る可く我見に執著せずして廣く民間の批評を希望し意見を承つて直接官民及內鮮一致の步調を取つて進みたい考なのである隨つて會議に於ては總督府としても勿論若干の提案を試み會議の意見を聞く事になるであらうが委員の方面からも種々の提案や決議案が提出せらるゝやうな事もあるであらうと之等は總て

委員の發言 を拘束しない方針で成るべく打寬ぎ互に胸襟を開いて自由に協議したい考である案件の內容は一々說明する事は不可能であるが總督府に於て會議の審議を求めたいと思つて居る事柄は今迄の處大體左の通りである

一、產米改良增殖に關する件
一、米以外の主要作物に關する件
一、畜產に關する件
一、小農保護に關する件
一、國有林の經營に關する件
一、林野の處分に關する件
一、水產業の助長に關する件
一、工業の助長に關する件
一、一般鑛業の助長に關する件
一、燃料及動力に關する件
一、海運に關する件
一、鐵道政策に關する件
一、道路港灣河川に關する件
一、金融に關する件

以上の十七項を主なるものとするのである、尙ほ全鮮各地の商業會議所の產業調査會に對する希望及提出意見は各委員に之を配布し意見を代表せしむる考へである委員の定數は規定にはないが會議進行の爲め少くしたいと云ふ考へもあつたのであるが協議範圍も可なり

廣汎に亘る 事となるので總督府職員を除き委員の數を四十名とし半數を內地より半數を朝鮮から選定し內地側二十名の內半數を官吏及び專門家に半數を實業家に又朝鮮側二十名の內半數を內地人に半數を朝鮮人より選定したのである幸ひにして我々の交涉した委員の殆ど者は全部承諾を與へられ豫定の人員を充實する事を得た事は委員各位の贊助を多とせなければならぬ元來が

產業調査で あるから實用家を本位として選定する事となり內鮮側四十名の委員は何れも實業に關係のある者のみで會期は九月十五日より二十日迄と定めたが會議の狀況に依つて會期の伸縮を圖る事になるかも知れぬと思ふ此の會議に依つて將來產業の事は民間の方でも充分注意せられ出來得る限り民間と官と內地と朝鮮と相提携連絡して行き度いと思ふのである

西鮮防疫會議

去る二十九日より二日間平安南道會議室に於て開催の平安南北黃海三道の方面防疫會議は各道衞生課長主任警部會員等十五名總督府よりは大久保囑託の外に鎭南浦、兼二浦兩警察署長列席したが議定された提案の大要は左の通りである

一、河川水の使用停止及其取締に關する件（細目二項）
一、道界に於ける旅客檢疫其他防疫連絡（三項）
一、列車內に虎疫患者發生の場合に於ける連絡（中南北、黃海）外一項
一、兼二浦直航路船の取締及船舶の取締並に船舶檢疫連絡（一項）

黃海道提案

一、鐵道沿線に於ける防疫連絡（二項）
一、車輛送檢疫連絡（二項）
一、道界に於ける除疫其他之れが防疫連絡（一項）

平安南道提案

一、道界附接地に患者發生の場合相互に通知勵行の件（一項）

佐野博士動靜

四日入京の佐野博士は目下朝鮮ホテルに滯在中なるが五日午前京城都市研究會員たる吉松府尹、岩井土木部長、蒔田府理事官、中野、佐藤虎次郎、田中四郎、赤萩與三郎、高山孝行等の諸氏と共に本府に齋藤總督及水野政務總監を訪問し午後二時より同五時に至る迄自動車を驅つて龍山方面を視察せり六日は午前中ホテルに在りて一般來訪者に應接し午後一時都市研究會發會式に臨席同夜八時公會堂に於ける講演會に出場翌七日午前七時二十分南大門驛發列車にて歸京すべし

京城百年の計をせよ

朝鮮ホテル歡迎會席上　佐野工學博士演說

愼重な態度で

都市と家庭とは異つて居るやうでも詳細に比較研究して見ると甚だ似通つた所が多いのであります、家の間取りが整つてゐると住心地は頗る良い、そして屋內の通路の如きも恰も都市に於ける街路の如くその便利であるかないかによつて家人の立働きが敏捷となり之に反して臆劫ともなります、又衞生の狀態を見ましても施設の完備せると然らざるとによつて健康者と病人とを出すのであります、完全なる一家庭が百と集まり更に千、萬と集まつた時始めて

立派な都市 が出來るのです、新しい家を新しい地上に建てやうと云ふのは新しい都市を白地の上に築かうとするのと同じであります、又在來の家屋では住みにくいので模樣替へをやらうと試みるのは在來の都市では不便であり到底用を辨じないから新に都市計畫を立てやうとするのとあまり異つたものではありますまい、何れの方面を觀察しても一家と家族都市と市民との間に及ぼす影響は甚だしく似通つてゐるのであります

然し此の **都市計畫を** 行ふには多額の財源を要するのであります換言せば財政上の鋭い判斷を要し永遠の經綸を立てなくてはならないのです、然るに京城の方々は宛ら一家族の如く結束され其意氣に於て其努力に於て又財政の方面に於てもすべてあらん限りのものを傾け以て大京城の實現をはかられしいことです、あるいは私は快哉を叫んでゐるのです、先刻長官氏は都市が發展すべき土地を買收しておいたら地價が次第に上つてくるから

自ら財源が 出來はしまいかとの話がありました成る程御尤もな話であつて彼の獨逸は都市計畫に成功したのでありますがそれは實に此政策によつて都市計畫に成功したのであります現に內地に於ける有識者の間にも此方法を須ゐやうとする企もせられてゐるものも決して稀ではないのです、然し地盤位ゐ狂ひ易く當の外れるものはありません、一闘に考へた所を行はうとして大切な財源を減殺したと例へば山程あるのであります、私は研究會の

諸君に對し 其意氣と其努力とを絶讚され以て同會の目的を貫かんとされる意思の壯なるに感激せるものであります此の財源と云ふ事は此れを措いて都市計畫の實行は出來ないのですから廣く奧行きの深い且つ間違ひのない基盤を立てゝ京城府長計の礎を築かれん事を切望して已まぬ次第であります云々

佐野博士歡迎會

朝鮮ホテルにて

京城都市研究會主催の佐野工學博士歡迎宴は既報の如く四日午後六時三十分より市內朝鮮ホテルに於て開催、此夜空晴れて銀河新月を孕み光芒燦として窓に懸るところ集まる者正に五十七名新興の氣自ら堂を壓す、ゆらぎ歡談沸く頃、副會長吉松府尹起ちて盃めぐる數十行、樂暗り伽郞氏主催者側を代表し京城都市研究會の發會式に先だつこと二日、本邦都市計畫界の權威者たる帝國大學教授佐野博士を迎へて今宵その歡迎宴を設くるに至れるは本會の欣幸措かざる所なり、希くは博士の熱誠なる指導に俟ち官民協力京城府百年の大計を樹立すべく挺身努力するを敢て辭せず

と一場の挨拶を述べ博士は之に對し別項所載の如き意見を陳述す、此時列席中の高橋章之助氏は越ながら會員の一人として京城府財政難の現狀を語り何事も容易に實行せられざる當局者の遲々姑息たるを慨し更に漢江治水策に及び日本に於ける三景は最早

從來の箱庭的 なるを以て滿足すべからず、然も金剛山を以て之に代へざるべからず、然も金剛山に遊ばんとする者の必ず通過すべき樞要の地たる京城府が同山の開發に努めずして之を利用して土地發展を策すべきを忘れたるは返す〱も遺憾とする所なり希くは博士の烱眼を以てされ叙上三個の問題に關して考究指導を與へられん事を述べ終つて田中半四郎氏の勸めにより一同ローズ花園に入りて總督府撮影の朝鮮事情活動寫眞に涼を容れ午後十時半主客歡を盡して散會せり

朝鮮でも開會したい

日本解剖學會の事業　九大教授　進藤篤一博士談

奉天に於て此程開催されたる日本解剖學會に出席の序を以て大連旅順撫順方面の戰跡を視察し三日午後九時十分奉天發列車にて歸校の途に就ける進藤醫學博士と新安州驛より同車して會議の狀況を聞けば氏は極めて愉快なる口調にて次の如く語る

本年の解剖學會の豫定地は第一仙臺第二奉天と云ふ事になつて居たが本仙臺の方が敎授連の留學や何かで手續の爲めに世話が出來ないと云ふので

奉天で開催 することゝなつた此種の會合は內地では每年やつてゐるが今度で二十九回目である最も各專門醫學會は各所で行はれるが右の外聯合醫學會が五年每に東京及京都で交互開かれる一體本會は設備の完全な學校若くば病院で開かないと何かと不便である奉天の南滿醫學堂の如きは設備の整頓した

立派な學校 であるので特に同地を選定された譯である今回は主として顯微鏡的及肉眼的並に人類學上の三方面に亘つて研究した而して會合した人々は各所道の專門家ばかりで且相當研究を積んだ材料を以て臨まれたので非常に參考となつた殊に滿鐵側や大方の御援助に依つて豫期以上の效果を收め得た事は一同の滿足する處である此次は

朝鮮で是非 やりたいと思ふが之は大方の御援助を待つ外はない京城醫專の久保博士は朝鮮人に就て熱心に研究されてゐるので實は講演を聞く事を樂みにしてゐたが奉天到着後病氣の爲めに缺席されたから遺憾ながら聞く事が出來なかつた醫師の分布は政策上少からぬ關係を有つてゐる卽ち地方民心の緩和地方衞生の助長に就ても

最も必要で ある此點に於て第一に土地を知る事が緊要である今回の如く各方面の專門家が集まつて各研究した事項を發表して御互に智識の交換をなしそして地方の狀況を知る事が出來た事は

學界の爲に 稗益する處甚大である（平壤）

晉殿下御生誕奉祝の本社獻上品を

御嘉納あらせらる

【東京支局特電】李王世子殿下の御生誕は內鮮官民上下の均しく慶祝に堪へざるところなるが本社は右奉祝の微衷を表する爲め象牙彫刻椿の花置物一臺を獻上することゝなり二日午後一時右獻上品を捧持して社長代理として東京支局長を王世子邸に參邸せしめ金御附武官を經て獻上したるに御嘉納の赴き御沙汰ありたり

北鮮地方は民情純朴である

水野政務總監談

水野政務總監は十五日間に亘る北鮮方面の旅行恙なく四日午後七時二十五分南大門驛著列車にて歸任せるが總監は車中にて語る

今度は元山上陸以來會寧から國境穩城の迄大方面迄も視察し各地の港灣をも全部步いて來たのであるが總じて北鮮は民情純朴で愛すべく親しむべき民である彼等には地主と小作人との關係なく土地の配分は均等に貧富の懸隔甚だしからず隣人相排擠するの必要なく社會組織は極めて良好の狀態であつて之を南鮮方面に比較すれば誠に甚だしき相異である勿論交通不便に所謂文明の

惡風潮に 染まず、財界の動亂を外にして安穩なる生活を營んで來た爲めでもあらうが此點は勿論である淸津雄基等の港灣は奧地に豐富な物資を有する間島地方或は森林等を控へ將來益々有望の商港である事は疑ひなき所である將來吉會線の開通を見る所もなれば遠く西伯利亞滿洲日本內地とを連絡する門として重要な港灣となるであらう四財團との

吉林借款も 將來何となる事であらうと推測して居るが北鮮方面の人士の希望も到る處で聞いたが先づ一般の希望として見るべきものは一、鐵道開通の促進に、港灣の築港三、高等普通學校設置四、定期船の航行等種々あるは勿論何れも彼の地には必要のものであらう總督府としても財政の都合をも考慮して其の希望は成る可く實現せしめたいとは考へて居る

京畿道地方課長

京畿道地方課長[illegible]長に轉勤以來暫く缺員の儘なりしが今回兵庫縣川邊郡長より朝鮮總督府道理事官に轉任せし伊達四雄氏が京畿道在勤を命ぜられたるに付道より地方課長を命ぜらるゝことゝなれり

因に伊達氏は目下病氣中にて未だ赴任せざるも快癒次第赴任の筈なりと

漢洞普通學校竣工

過般祝融に災されて燒失したる府內漢洞公立普通學校兒童は目下貞洞公立普通學校の一部を借受け每日午後零時半より課業を受けつゝあるが貞洞英國領事館跡に新築するに決定せる漢洞校は本月廿日頃までに先づ講堂のみを竣工し貞洞校に收容せる兒童を移轉せしむる豫定なりと

咸北女教員視察團

咸鏡北道女教員視察團五名は道視學洪淀錫に引率され城津より汽船にて元山に上陸、それより鐵路入城し四日朝鮮總督府、郵便局、本社、商業會議所等を見學し各學校其他名所舊蹟を視察する豫定にて入城明日は未だ決定せざるが一行の氏名左の如し

引率者咸北道視學洪淀錫、吉州公立普通學校教諭許順欽、鏡城校同上金鳳葵、穩城校[illegible]志明、雄基校趙夢今、明川校成錦妹

井戸改築計畫

東拓京城支店に於ては既報の如く土地管理の集約を期し農事の改良小作人の保護指導を徹底ならしめ地主對小作人の密接を計る爲め地方駐在制を設くる事となしたるが尙進んで小作人の衞生狀態改善を施し其第一著として社有地の集團せる部落にある井戸の改修をなすことゝせる主旨は從來の井戸にして水質良好水量潤澤にて部落內に於て尤も貴重の用を爲すもの少からず而も其設備不完全なる爲め雨水汚水等の侵入により水質を惡變せるもの多く如此は一般衞生上より見て甚だ面白からざるは云ふ迄もなく若し一朝往年の如く惡疫流行に際會せば其危險一層大なるべきを慮り之を未然に防ぎ小作人の衞生を計らんとするにあり之が實施方法に就ては目下調査中なるが大體は改修に要する材料費用を補助し會社監督の下に關係者を指導し完全に施行せしむる方針なりと

高石氏講演會

五日午後七時より長谷川町公會堂に於て大阪每日新聞社主幹高石眞五郎氏の太平洋會議に就て講演ありたり

人事消息

▲佐々木仁氏（京城郵便局工務課長）平壤鎭南浦間の特別高壓送電檢査の爲出張中の處五日朝歸府せり

▲櫻井一氏（京城郵便局）豫て東上中なりし同氏は五日午後七時五十分南大門着列車にて歸城せり

▲細井雄氏（日本評論社長）滿洲旅行の途四日夜入城山本旅館に投宿せるが一週間同旅館に滯在の上再び滿洲へ向け出發の豫定

茶話

是れもエム君の御談である▲或時米國第一の拳鬪家が倫敦にやつて來て英國の一流拳鬪家と仕合をすることになつた高價な觀覽券も前日中に賣り切れになつた程の人氣で觀客は開場前から粹々と押し寄せて館前の廣場に人垣を打つてゐた▲登場の鬪士を見ると米人の方は縱橫つり合つた偏强な體格で英人の方はヒヨロ〱と細長い人物であつた▲仕合は二十回で終結する約束で立ち合つたのであるが米人は初めから攻勢を執つて驀敵を惱まし英人は絕えず防禦的に出て一擊を食る每に蹣跚として今にも倒れるかと思はれてゐた▲第一回から段々に進んで行つて第十二回目までは常に米人に八分の强味があつた處が第十三回目になつて不圖した機みに少し米人が踏ひたる突に英人は猛然として突進し、擊又突擊、こう〱此一擊に米人を倒して復起つ能はざらしむるに至つた▲英國は昔から幾回大陸からの外寇を受けたか分からない羅馬人ピクト人スコット人アングル人サクソン人ノルマン人が次から次へと侵入して其都度全國を擧つて敵兵に占領せらるのであつた▲もう迚も盛り返しは出來まいと思つてゐると又ぞろ〱と頭を擡げ出して候、元の通りに其國を再興するのであつたあの英國人の粘り强い國民性は此間に養はれたものである▲日露戰爭に上村艦隊が露艦の爲め浦鹽を逸出した爲め國民は之を取り逃がしたといつて上村中將の私宅に石を投じた日本人さへは大分な腐敗がある

哈府露支住民の葛藤

【哈爾賓通信】從來露國側は支那人に對し頗る寬大なる態度を持して[illegible]段に出で時に武力を以て不當の[illegible]不平の聲は益高まり之に加ふ[illegible]の取締方に關し好評を有せざる[illegible]すが故にて支那人の[illegible]歡は最近支那共產黨[illegible]らず之を利用して惡[illegible]のがあるこ[illegible]べき情況に在ると共に露支間感情の疎隔は日と共に甚だ[illegible]

軍隊の[illegible]

[illegible]たる狀態であつたが昨今漸く[illegible]熱に刺戟され數日に至り步兵[illegible]七十八、九の兩聯隊では中學[illegible]保から一切の器械を[illegible]へ休日又は祭日に限り運動遊戲すること[illegible]可したのでボツ〱稽古に[illegible]極め追つて十、十一月は機動演習があるので軍務以外の運動は十分に練習する餘裕がなければ[illegible]

天氣豫報

晴一時曇

[illegible]部は盛大にして一般に靜穩なり六日京城は概晴にして一時曇るべし

四日	最高	二九、八	八六、六
五日	正午	二七、二	八一、〇

城津港と移出牛【下】

內地移出＝其の機動と範圍
畜牛增殖計畫と輸移出能力

移入直後の屠肉は到底肉用的價値に乏しく全く未成品なり移入後一旦農家に於て牛乃至一ヶ年農耕用に使役せらる、期間に於て著しく營養を恢復し從つて價格向上に至れば農家は之を更に肉牛の生産地たる江州其の他の地方に賣却し該地方にては六ヶ月間肥育を施すに於ては純和牛と何等異なることなく其の成績極めて良好なりとは從來當業者によりて實驗證明せらる、所なり

現在に於ては兵庫縣下加古川及同縣神崎郡尼崎大阪府下堺京都府下伏見福井縣敦賀等は主なるものとす內地に於ては毛色は赤毛を好まれ野毛旅毛之に次ぎ斑毛及額白は何れも之を嫌忌するもの、如く從つて營業者は之が仕入をなさず角形にも又注意を拂ひ可成整然たる美角を選定せらる

近時中國地方は勿論北陸關東東北地方にまで販路擴張せられ北鮮の聲價は至る所賞讚を博しつゝあるは甚だ欣ぶべき現象なりとす

移出牛の仕入地は城津郡臨溟(城津より三里)吉州郡吉州(城津より九里)同郡錦川洞(城津より七里)明川郡花臺(城津より十九里)同郡雩祉場(城津より十六里)明川郡明川(城津より十八里)等主なる市場にして咸南端川郡俯南里(城津より六里)同郡城川(城津より十二里)等よりも仕入れをなす就中北道中吉州郡吉州明川郡明川同じく雩祉場の市場は最も盛況にして毎市日少くも百五六十頭多きは七八百頭內外の畜牛集合し頗る殷賑を呈せり斯の如くして仕入れられたる牛は何れも陸路城津に輸送せられ船待の間飼養し檢疫を受け汽船に積込み移出せらる明治四十三年度慶南釜山に移出牛檢疫所設置以來年々之が頭數增加し販路は九州及び四國地方を主とし未だ關東々北地方には其足跡を印せざりしが日本海航路の開始により關西地方は勿論關東より東北地方に至るまで盛に移入せられつゝあり以上の趨勢を呈したるは洵に欣ぶべき現象なりとす故に爾今移出を獎勵すると共に大に畜牛の增殖改良に努むるは刻下の急務なりとす然らば今後如何なる程度に移出可能なるやと云ふに現在にありては前記せる如く本道の南部三郡及び咸南道中三郡の一部第一回より第四回に至る移出牛は前記の如く檢疫終了後は致屠場に於て强制屠殺せられたりしを以て主に四歳以上の牝牛なりしが第五回後は屠殺の外更に生牛として取引せらるゝ樣規則改訂せられたるを以て屠肉牛と飼育牛とは殆ど相半ばにて成牝牛は農耕用に(主に牝)は飼育せられたり而して移出牛は需用地の季節及用途の關係により一定せざるも內地は一般に牝牛を歡迎するが如し

關東州法人課稅

改正後の影響甚大

【大連】從來關東州は州內の生産工業の發展を促進せしむる方針より法人に對する課稅は比較的低率なるのみか阿片賣下收得金の幾分を割愛して保護金すら下附せし位なりしが最近阿片事件勃發より生ずる其の減收金建築後取引休止より生ずる收入皆無遞信收入の劇減等にかてて一面關東廳官制改正に伴ふ出費等著しく關東廳の財政逼迫を告げ之が切拔け策として東拓へ土地の拂下問題など巷間に傳へられしも反對の聲喧しきより其の實現を見るに至らざるが法人課稅は內地同樣に改正せられしより其の關係者は非常なる苦痛を感じ今日迄ドウヤラコウヤラ持ち堪へて來るべき財界の一陽來復を待ち居たるものも其の負擔に堪え兼ね遂に投げ出すもの頻々たる狀況なり

支那側電車計劃

大連、奉天、營口、撫順間

【奉天】從來支那側では奉天撫順間に電車敷設の計畫があると云ふ事は傳へられて居たが今回奉天城內の姿思法氏は大連營口奉天撫順間に電車を敷設すべく諸調査を遂げ計劃を立て見積書其他を揃へ當局へ許可を願出たとの事である、此の計畫が果して實現出來るか否かは多く問ふ所ではないが兎に角單に電車鐵道等計りではなくあらゆる方面に支那が此の手段を講じつゝあるのは大に細心なる注意を要する所であらう

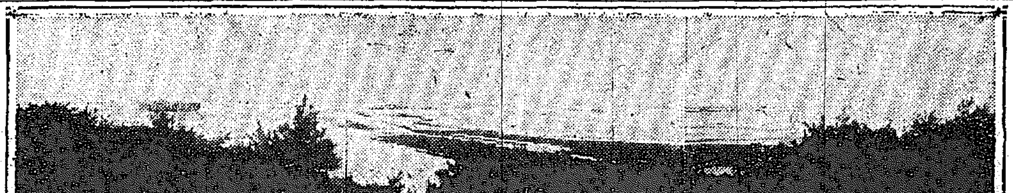
國境貿易增加

【新義州】去る八月中に於ける新義州及び龍岩浦に於ける國境貿易狀況を聞くに輸移出金額二百一萬三千三百九十九圓、輸移入二百五萬八千三百五十九圓合計四百七萬一千七百五十八圓にして前年の累計輸移出千二百八十八萬三千九百四十六圓、輸移入千六百四十萬三千七百六圓合計二千九百二十八萬七千六百圓にして前年の累計に比し三百三十六萬二千八百六十一圓を增加し居れり

平壤客月貿易

【平壤】平壤稅關出張所の八月中の統計に依れば輸移出五萬五千百三十圓輸移入八十六萬四千四百二十一圓計金九十一萬九千五百五十一圓なり之を前年同月に對比すれば輸移出九十圓を減じ輸移入二十六萬五千九百十五圓を增せり輸移入の比較的增加の趨勢にありては金融稍緩和されたると季節物の移入增加及不安定なりし內地米相場がヂリ上げの狀態となり本秋の作柄好況を豫想され幾分購買力の增加を誘致したる結果なるべし又建築界は木材値段の下落に連れ安東新義州方面より相當入荷あり輸移入中の主なるものを擧ぐれば左の如し

蛙瓜原糖	約十六萬圓
綿絲布類	約三十萬圓
木材	約六萬圓



全北出水光景【記事參照】

群山と臺耳島へ【五】

翠山生

彼女は救はれた

署長から眞綿で頸の說諭
樓主は譯もなく兜を脫ぐ

◆彼女は熊本のもので吉井タケといふ今年二十の女盛り華奢な容姿と初々しい界隈に板子一枚を命の綱とたのむ赭顏黑膚の漁り男を相手として媚を賣るべく餘りにいたく〳〵しく思はれた遊廓で込みの料理店○○丸に抱へられてから滿二年北間六分稼ぎもしたが親方といふのが彼女の容色を價にして容易に手放さぬので足拔きが出來ぬとは斯うした社會に有り勝ちの事例に知方タケに稼ぎ高の精算を迫ると親方は不興な顏をして果ては拔つ殴るといふ不法の振舞取り分け此のやうな孤島ではさうあらうと頷かれる。

◆彼女は署長の訊問に對し俯向きながら正聲で斯う語つた『京城に居る姉が妾を足拔きさす爲に木浦の警察へ百圓送つて來たのですか?……妾は一日も早く斯うした境遇から足を洗はう〳〵と思はぬ日はないのですが抑々ソレが出來ないのです親方に其話を持出すと親方は大層な權幕でお前の借金はマダ之れ丈あるのに廢業が出來ると思ふかと怒鳴り付けます ソウ借金の有らう筈はないがと答へますともう二言目には妾の身體に手が掛つて拔つたり叩いたりしますから妾も滿二年稼いで居りますから借金と云つても大したことは無いだらうと思ひます……』と彼女は堪り兼ねたやうにホロリとする『ハイ…撲たれたり叩かれたりする毎に警察に申して出るのは知つて居りますがソンな事でもしやうものなら一層酷い目に逢はされます』…と眼を拭ふ涙で彩る一通りの哀話が濟んで彼女が引下がると夫れと入れ替りに○丸といふ料理店の例の親方がやつて來た丸々した骨格の逞しい五分刈りの鼻下に髯を蓄へた色の黑い眼光の鋭い何うかと思はれさうな面魂で見ても一癖ありさうな面魂ではあるが此の仲間では割合に物の判つた顏役だとの事である署長は彼れに對し『吉井タケの姉から百圓送つて來てゐるタケも滿二年も稼いで大分店の爲にもなつて居るだらうから好い加減に諦めて廢業させてはどうか…若し其許が飽迄頑張るならば當今は借金は借金身體は身體と別になつてあるのだから却つて其許の爲になるまいと思ふ又斯うした社會には惡女を虐待して拔ち打擲する例が少くないが此等は大に愼むべきことで警察として萬が一にも斯かる不法行爲を耳にした場合は秋毫も假借する所なく處分するタケは八月一杯で姉の處へ返しては仕麼か』と眞綿で頸の口調で諄々と說諭した彼は案外男らしい態度に出で『外ならぬ署長さんの筋道の通つたお言葉ですからタケは八月限りで返します ソレも他の同業者へ仕替へすることではなし姉許へ歸るといふのですから……』茲で薄命の彼女は闇の涙の世界より喜びの明るみの天地へ出ることゝなつたのである。(續く)

西鮮名物

淸川江の鮎狩

銀鱗潑剌として躍る

小蓮吟客

▲ケーさん■私は忙中閑を得て西鮮名物の一つなる淸川江の鮎狩りに加はるの機會を得た北の鮎を送る代りに玆に案內記のやうな物を書いて貴郎方の遊意を動かしたい鮎のやうに美味ではないが若しこれで一讀して下すつたなら私は幸甚である

◆京義線は新安州驛から輕鐵に乘換へ龍興里驛で下車し、さゝやかな栗畑を橫切り、小さな丘を越ゆると、もう眼の下には瑠璃色の空を掩いた淸川江の支流が展開してゐる。川幅は二町足らず、ぢやぶ〳〵と徒步で渡るが莫迦に冷たい、水深は膝を沒する程であつたが、ところ〴〵に泥深い箇處があつて、倒れむとしてアツと思はず聲を立てる事もある。此時慌てたら、携へてる魚籠でも辨當でも泥中に投出さないでもない。假令泥に足を吸ひ込まれても、落付いて確かり立止る事だ、深くても膝位しか沒しない。無事岸に上つてから、其の中の島の稍黃ばんだ楊柳の村を目標に足を急がすのだ

◆病葉が風もないのにちら〳〵散る、のも風情がある鵙の聲が夢のやうに聞ゆる部落には小さな禮拜堂があつて可愛い朝鮮の兒童が嬉々として戲れてゐる唄を唄つてゐるのもあれば大きな聲で暗誦してゐるのもある紅い袴を跨いた女の子が鵝の樣に物怖の瞳孔して指を啣へながら私達を見送るのも繪のやうであつた

◆若しも此の時、黑い大きな犬が牙をむき出して、けたゝましく吠しきつても、石など投げ付けていけない。忽ち白や斑や茶褐色の同類を呼集めて包圍する現に私のチヨンガーが石を投げた許りに同行の女學生は悲鳴を擧ぐるやうな騷ぎが持ち上つた程である。黑い犬の姿でも見たら少しも頓着せず口笛でも吹きながらさつさと通るに限る

一町半にして淸川江の右岸に達する、淸川江は其の名の通り美しい河で、川床の白砂は宛ら銀粉のやうに初秋の日に輝いてゐる、遠近の山々は紫色に煙つて物の音一つ聞えない『まるで太古のやうね』と悲鳴を擧げたお孃さんは除りの美しさに先刻の騷擾をも忘れて立止まつた位に短歌でも考へてゐるのだらう楊のしよい揚げの紅いのが水に映つては碎けてゐる平安南北道を境して水は洋々として流れてゐる『彼の大きな淵に鮎が多いのです』と案內の朝鮮人は指さして鮎狩の用意を始める。私達も其の助手たらんとして尻をぐつとからげた。(つゞく)

東宮御渡歐映畫

【海州】在海州官民有志は九月十八日頃大阪每日新聞社主催に係る東宮殿下御渡歐活動寫眞班一行を招待して普く衆庶に拜觀せしむる目的にて計畫中なるが開催場所は憲守備隊構內を充用する筈

頗る盛況

關東廳始政十五年紀念祝賀

九月一日は關東廳始政十五周年に相當するを以て各地擧つて夫々祝意を表することゝなり居れるが就中旅大兩地は場所柄とて盛大を極めた大連にては各官衙は休務し民政署に於ては外國領事其他の祝賀を受け各學校は生徒を集めて式を行ひ後休校し遞信局は紀念葉書を發行し長へに當日を記念すべくスタンプを押捺し土木出張所は信濃町より小崗子に通ずべき新設街路を開通した旅順にては新市街後樂園にて旅大知名の士約四百名官民の招待を受け參集し大阪相撲浪花節支那手品等の餘興後善美を盡したる立食の饗應ありて盛大裡に此の紀念日を祝し夕刻思ひ〳〵に解散せり

稀らしい大洪水

全北平野泥海と化す

全羅北道 八尋農務課長談

【全州】去る二十九日以來の豪雨にて全北平野中萬頃江流域に沿へる益山郡春浦面、全州郡參禮面、金堤郡白鷗面に跨る約四千四五百町步の水田は一面の泥海と化し浸水家屋大場村三百戶、白鷗面二百戶、參禮面五十戶に及び

炊出し救助

をなしたるもの二百餘戶に及び交通杜絕し船により各村との連絡を取り居れる有樣にて慘憺たる狀況を呈し居れり九月一日に至り天氣回復したるを以て幾分減水し辛うじて全州裡里間に自轉車を通ずるに至りたるも僅に減水の模樣なきが如し右に付次角知事に隨行現場を視察したる八尋農務課長は語る

今回の出水

は昨年の稀なる大出水には及ばざるも近年稀なる出水で浸水面積は益山、金堤、全州等約四千五百町步に跨つて居る此地は年々水害を被る所で昨年の如きは三回迄も出水したが排水が速かに出來れば左程の損害はないが此平野は萬頃江の流域で萬頃江なるものが恰も平野の間に大蛇のウネつて居る如く

幾曲折して

排水の具合が非常に惡い爲に一度出水すれば容易に減水しない殊に海が近いので潮の影響を受くる恰度今頃は大潮では無いさうだけれども滿潮期に際會したので容易に引く模樣がない殊に又湖南の線路や全郡道路や其他の障害となるものもあつて大場村を中心とする

此の平野の

排水は餘程困難である水害の爲め此の平野の被る損害は實に非常な者で假に二割減としても九百町步の收入が皆無となる理窟である本道としては萬事を差し置いても此の萬頃江を整理して能くすることが焦眉の急であると思ふ云々(九月二日午後二時)

出水被害程度

【全州】先頃全州裡里平野に出水があつて四千町步の水田に浸水したが幸ひ稻の登熟後であつたから農作物の被害程度は大きく見積つて約二割方少く見積つたら一割內外の減收だらうとのことである

神戶、吳、宮島、名古屋、大阪、京都、東京、日光等を約三週間の豫定を以て視察せしむる由因に同團所要經費約八千圓なりと

林業狀況視察團

振威森林組合主催

【平澤】振威郡に於ては殖林志想涵養の目的を以て同郡森林保護組合聯合會主催の下に組合員中成績優良のもの十三名を選拔し木村金兩技手金郡屬之を引率し九月五日より向ふ三日間京城府高陽始興の各府郡に於ける殖林狀況を見學せしむる事となり郡費より若干の旅費を補助し一行は五日朝出發見學の途に就けり

衞生講演會開催

平壤安州成川にて

【平壤】平安南道にては府郡及警察職員の衞生智識の向上を圖るため本月五日より平壤、成川、安州の三箇所に於て衞生講習會を開催する筈なるがなるべく理論を避けて實際的に講習を行ひ努めて啓發せしむる方針なりと因に其講習日程並に科目講師の氏名左の如し

五日より五日間平壤、十三日より五日間成川、二十三日より五日間安州

一、傳染病概論及豫防法に就て(太田衞生課長)
一、消毒方法及實地應用一般食物簡易鑑別法に就て(菅野囑託)
一、衞生警察法規一般衞生一般に就て(原囑託)

時局問題講演會

大東同志會主催

【平壤】大東同志會にては八月二十七日より九月二日まで義州外六ケ所に於て時局問題其他に就て講演會を試みたるが各所共相當の効果を納めたるが尙來る七日中和大同郡十日江西順川、江東郡十一日成川郡に於て講演會を開催すと因に八日九日兩日午後七時半より公會堂に於て總田道知事の國際公法より見たる太平洋會議、鮮于鎬氏の共存共榮と題する講演ある筈

愛婦と支部總會

【釜山】愛國婦人會釜山支部にては過般委員會を開き來月中旬京城に於て同會長下田歌子女史の來鮮を迎へ開會の筈なる同支部總會に出席す可き會員の勸誘中なるが同女史歸途は是非共釜山へ一泊を懇請し歡迎を兼ね一場の講演を依賴する事に決定せり

內地學事視察團

敎員二十五名選拔

【春川】江原道に於ては管內公立學校敎員二十五名を選拔して來る九月二十日より福岡、廣島、

地方人事

▲モルダーレク氏(哈爾賓駐在ホーランヘド總領事) 四日夜新羅丸にて內地へ(釜山)
▲李丙謨氏(學習院學生李完用孫) 四日夜新羅丸にて內地へ(釜山)
▲河井朝雄氏(朝鮮民報社長) 四日朝新羅丸より上陸(釜山)
▲堀吉之助氏(東拓木浦支店長) 管內巡視の爲め十日間の豫定を以て五日出張(木浦)
▲古庄逸郎氏(全南地方課長) 四日來木府事務の檢閱を爲す(木浦)

ゴシップ

【平壤】從來平壤の公會堂で催される宴會は至つて貧弱なもので デンナーらしきデンナーに接した事が無かつた▲曾て某會社の支店長更迭披露宴の際でも約千圓を投じたに拘らず宛ら立食か茶話會のやうなもので▲食事中ステージで藝者が踊り出しお客を面喰はせた事もあつたが▲今回羅莊商會主が大莊野球團を招待した宴會は從來のレコードを破り始めてデンナーらしき氣分がした▲態々この爲めナフキン迄取り寄せたり花束を集めたり是で銀のナイフやフオークが揃へば本式のデンナーだ▲是が慣例になり今後はデンナーらしい宴會を見るであらうが經營者が毎月三百圓宛損をしてゐると云ふからさう〳〵慾は云へない▲併し一品料理式の料理計りぢや客足の續くものでない設備を整へ料理を精選したら繁昌疑ひなし▲とは云ふもの・アスパラガスをナイフで切りフオークで食べるお客が多いやうぢやア公會堂食堂部の改善も當分は覺束無からう▲先づお客から訓練するかな

演藝案內

大正館 日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店 櫻井町 電話八七三
○九月二日より市川姉蔵退團劇 ○英米探偵劇 ロイド製作 長尺 ○ドタバタ喜劇料理 長尺 ○新派劇 向島派山本一派出演
新派活劇 魔術師の女 全五卷 鬼の樣な魔術師の一族の花形女人夫婦子は途に逃走す妻夫の神に補はれし後の彼が哀れ悲惨なる運命や如何
米國パテー社傑作品 ロドリンス 映人情劇 路傍の人々 全六卷 ヒーダーウエバートン青年はマーガレツトー女を熱愛し二子を儲けしもピーターの異母妹はベアトリスさんと婚さんは二人は悲惨なる決裂を見さたせし幸に再び溫き家庭の人さんなり得たり
日活京都派第二部市川姉蔵退團劇 舊劇 佐倉宗五郎 全五卷 領主堀田上野介の暴政に下役人共の非道の爲めに佐倉領二百八十餘ヶ村の民の苦を救ひ末代迄も此村其名を擧げし古今の義民劇
毎月一日十五日、日曜、祭日及び特に九月三日畫夜二回(料金特に普通)

喜樂館 本町一丁目 電話五九七番 大映提供
○九月二日より新三大映畫提供 ○米國パラマウント映畫 サイダ製造所長 ○ニコ〳〵活劇 飛んだ災難 全二卷 ○日活京都派 第一部 下の珍大名 後篇八卷 ○舊劇 大名遊說 後日の珍談 俳の三傑引續て 米國パラマウントラスキー特作映畫 空中の驚異超人的大冒險劇 猛獸 全六卷 大冒險大活劇 世界の手品王ハウデイニ氏決死撮影 見よ地上に空中に海上に物凄き決死の大冒險 大なる撮影は六千呎の高空より撮影せるものにして二臺の飛行機と一人の飛行家を失ひし程にて實に映畫界空前の壯舉なり 日活京都撮影所特選新作大映畫 新派劇 千鳥が淵 全六卷 酒井米子、新井淳、中山歌子

浪花座 本町四丁目 電話三三八番
懸賞 五百年の昔を偲ぶ義烈史 殺し天才的美辞にて非凡の前讀必ずハンカチーフが御用意の上御涼み方々 洽風吹く黃金の鶴 御入場の程を 聯續活劇 幽靈騎手 第九篇

京龍館 電話三一一番
新派喜劇 新 お杉お玉 今般內地より新進若手七名加入 連隊兵營 常設 活動

浪花館 明治町 電話二六〇番
○富る九月十日より開演特別與行 ○東京府下各新聞紙上の問題となりたる 神道齋狐光 師來る
▲術著 神道齋狐光 師來る
其他種々
實錄忠臣藏 全十二卷

京城劇場 本町 電話五七八番
來る九月八日より午後四時開演
姫野興行部
一番目 有職鎌倉山
中狂言 河波鳴戶
切狂言 神靈矢口の渡

滿員御禮
追善大興行
姉藏優れた名殘り狂言
佐倉宗五郎
右上場以來連日滿員の大盛況は姉藏牛前の御贔屓御同情に依るものと厚く御禮申上候
大正館

黃金館 黃金町 電話一六三七
○毎週金曜日替○特別普通
○滑稽 ダムの失敗
○新派悲劇 明智光秀の後篇 四卷
○大阪毎日新聞紙上で世人の最も注意を受けたる大本教の實況如何に廻轉するか
○新派悲劇 若葉の囁き 全四卷
○新派悲劇 間重次郎 二義錄 長尺

月やく
月經の專門藥 經球は一番信用のある效能確實なり他の藥にて効なく御困りの方は試用あれ一個五十錢郵送料十錢 說明書は返信料添へ申込あれ直送す
東京市四谷區 森田屋本店 振替東京五二六二五番
京城本町二丁目 木村號
釜山辨天町三丁目 森田藥舖

川合時計店
京城本町二丁目 電話二九一八振替京城二二九一
正誤 右廣告九月四日掲載の挿繪は誤りに付取消す

壬生醫院
往診 自午前八時至午後十二時 花柳病は特に夜間診察
宅診 (午後一時以後)
入院隨意 電話六一六番
仁川仲町一丁目(仁川俱樂部隣)
肺結核、喘息、血液淨化、皮膚尿其他細菌的檢査診斷の需に應ず

マラリア特効丸
○定價五十錢、廿錢、卅錢、五拾錢、壹圓五拾錢
有効確實にして實驗を博せる本品は連用するも何等副作用なく身體を强壯にし完全にマラリアを根治す
販賣店各地藥店 本舖 龍山元町二丁目八十八番地 林藥房

京城劇場にて
九月八日午後四時より
我童、荒五郎、嚴笑 大一座
クラブ愛用者(た土産 進呈)
優待觀劇會
特等御一名 金七圓
一等御一名 金四圓五十錢
切符賣捌所 本町二丁目 森商店 本町二丁目 久夏 本町 川島商店 太平通 古賀商店 明治町 本町 町田商店 太平通 盛文堂
クラブ化粧品組合セ一箱 おすし、お菓子 おそ、ふとん、火鉢、番付共 クラブ化粧品組合セ一箱 お茶、ふとん、火鉢、番付共
主催 クラブ本舖
後援 京城化粧品共榮組合 京城日報社代理部

解雇廣告
橫濱生 鈴木茂雄
右之者儀今般不正の事有之候に付八月三十一日限り解雇致候間以後弊店に關係無之候也
京城南大門通 青木堂支店

謹て 東宮殿下の御歸朝を迎へ奉りて
此紀念メタルを我『中外草履』の愛用者各位へ無代贈附せんとす

御渡歐紀念と中外草履

我東宮殿下には此度の歐洲御巡遊の御旅程を恙なく終へさせられ目出度御歸朝遊されたるに付弊店は謹んで嘗て之を迎へ奉ると同時に此空前の盛儀を永久に紀念せんが爲に『中外草履』の愛用者各位へ紀念メタル壹萬個を限り左記方法により無代贈呈せんと欲す。幸ひに弊店の微意の存する所を諒として御賛同あらん事を。

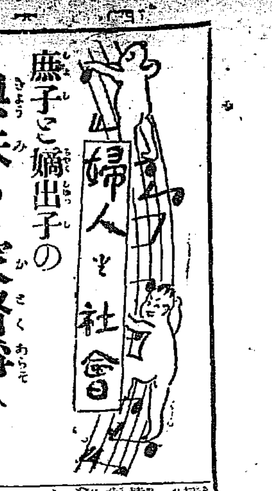
▲紀念品▼ 甲種 純銀メタル(イブシ)貳百個 乙種 銅メタル(イブシ)九千八百個
▲贈呈方法▼
一、大正拾年九月一日より九月末日迄の間に當店小賣部へ直接『中外草履』御注文の各位へ其の多少に拘らず御注文一口に付乙種(銅メタル)紀念品一個宛を贈呈す。
一、但し學校會社官衙等の團體へ御注文にして注文者の連名ある場合は右記期限中に乙種紀念品一個宛を贈呈す。
一、前記期限中御注文者の內より拾名宛を抽籤し前記乙種紀念品に代ふるに甲種(純銀メタル)紀念品一個宛を贈呈す。
一、御注文品には必ず紀念品贈呈の文字及番號を附したる新聞名をお書添へ下さい。
一、御來店御買受の各位へは店頭にて抽籤贈呈す
一、期限中と云へども紀念品數量を超過したる場合は何時にても締切る。

今流行の 總ゴム雪駄 中外草履

特價 男物 金貳圓 女物 金壹圓九拾錢 子供物 金壹圓 七拾錢

鼻緒から表迄全部をゴムでこしらへた總ゴム雪駄汚れたら何度でも洗へる實用第一の履物耐久力は正に在來品の五倍以上鼻緒さへ代へればいつも新品同樣に經きで御使用が出來ます。御注文は代金引換小包でお送り致します男女別年齡を御通知下されば鼻緒は當方で適當なのを見計らつて差上ます前金お送りの方は郵送料當店持。市內は電話あり次第即刻持参致します。

中外草履 本舖 合資會社 第一商店 大阪北區梅田新道東入 電話北二六八八番 振替大阪三五五〇〇番



庶子と嫡出子の興味ある家督爭ひ

戸籍面では原告の勝　今後どう進展するか

咸州郡□□面大洞里金容默が府內咸州通り一の一九四金重默を相手取つて亡金榮淳の家督相續確認爭ひは第一審京城地方法院民事部野村裁判長、花村、伊藤兩陪席判事係り

係爭 の結果原告の理由が認められ原告容認の勝訴となり第二審京城覆審法院民事部淺田裁判長荒井、渡邊兩陪席判事で係爭となり二日終決辯論で結審來る九日判決言渡しとなつた、此の係爭は頗る興味あるもので亡金榮淳は相當の資産ある兩班である

原告 の主張は今を距る五十九年全州李氏と結婚し原告を生み金海金氏は妾として被告を分娩したものであるから被告は假令原告より年長者であつても長男の資格はない庶子であると云ふ被告の答辯は本妻であつた全州李氏が離婚となり其の後に

金海 金氏が妻として入籍し然して被告を生み後嫁の本妻全州李氏は妾として入籍し原告を生んだものである依つて被告は立派な長男で相續人たる事實は爭へないと云ふ答辯である果して何れが眞實か興味ある謎だ此の種の訴訟は珍しくは無いが兎に角

戸籍 改正の際其筋で只屆出人の云ふが儘に登錄したと云ふ樣な忌はしい事實が發見されて來はしまいか、第一市籍面に於ては爭ふ餘地無く被告が長男となつてゐるが事實取調べると第一審判決が至當である、今回被告側からの證據物件や證人が現れて盛に主張する點に依ると怎ふやら被告の言ひ分も事實らしい處があるが判決迄は解らない

機關車火粉防止器が完全に發明された

京管局より表彰された　渡邊平壤機關區長の苦心

平壤機關區長渡邊格氏が完全な機關車火粉防止器を發明し京管局より表彰された事は其頃の本紙に掲げたが其の效果顯著なるものあり今や

朝鮮 鐵道と此の防止器を機關車に使用することになつた、從來內地でも機關車の烟突から噴出する火粉で燒き人家を烏有に歸せしむので森林を燒き人家を烏有に歸せしむので鐵道關係の人々は是が防止器の發明に苦心してゐた夫れに卒先して渡邊氏が完全なものを發明した事は

朝鮮 の誇りとしても好い而も其製作も頗る簡單であるだけに總ては內地鐵道でも此の防止器を使用するに至るであらう。撫順炭を常に使用してゐる滿洲線でも機關車の火粉防止器不完全な爲沿線の支那家屋を燒いた例もある。

此の 完全な火粉防止器を使用せば曾寧炭、安州炭、鳳山炭、咸興炭でも朝鮮線に十分役に立つから朝鮮の産業發達の上から云つても有利な譯である、渡邊氏は福井縣の人で鮮鐵に入らない前は北海道作業局鐵道部に居り各地の機關庫主任を努め其の後明治三十二年官用時代から鮮鐵に入り各地の機關區長を經て平壤機關區長になつたので機關區長としては最古參である

飽迄謙讓に　發明の動機と苦心とを語る

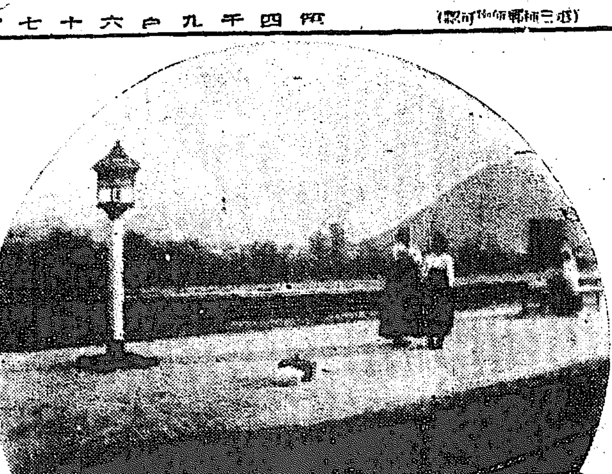
渡邊機關區長を機關庫に訪へば同氏はデスクに左肱を乘せ飽迄謙讓な態度で語る『いゝ發明したと云へば發明でせうが實際は

大體 を案出して車輛掛長が色々に工夫して完全になつたので私一人の力ではありません是ぞ發明した動機は撫順炭の供給が尠くなつたので奈何かして朝鮮産の石炭で列車を運轉して見たい夫れにしては

朝鮮 産の石炭は概して煉炭で從つて石炭も夥しく噴出するに火粉も夥しく煉燒するから是が防止器を完全に發明さへすれば目的を達し得ると思つて心懸けたのでした從來の防止器は機關車の煙箱の中に金網が裝置してあるに止まつて居るので其の金網の目二分五厘立方尺の間から洩れて出る

火粉 でさへ人家を往々燒く事があるので夫れ以上の物を研究しなければいけないと思つて考案したので、私のは煙箱に裝置するのではなくして煙突の上に裝置するので極めて簡單なもので各種機關車殊に最も火粉の噴出する事の多いコンセリデーション型でも檢査しましたがお蔭で

成績 は良好でありましたナニ大した發明でもありませんが是が幸ひにして廣く用ゐられゝば私は本望であります鐵道に職を奉じてゐる以上は何かお役に立てばと常に心懸けて居ります云々猶同氏は曩に連結器をも發明した事があるさうだ（平壤）



評 面白き機關哉友情の如く溫く照し賊に面白きは山の曲線を破る瓦斯燈が選京人物又徐がたし（秋敵）

友情【コダック會三等當選京城原田計三郎氏】

一讀談の相談一

送籍に困る　戸主は行方不明

戸主は行方不明二箇年半になります、戸主の娘は一年前に嫁ぎまして姙娠しましたが、戸主が前述の樣なので送籍が出來ぬのですが、戸主の妻（娘の母）の印ではいけませぬか（思案女）

【答】戸主が行方不明なら其理由を認めて屆書を差出せば婚姻は有効に成立するものですが、戸主は婚姻される娘さんの父故、女が婚姻するには滿廿五歳になるまでは、其家に籍のある、兩親の同意を經なければ、何うしても婚姻は出來ぬのですから、其年に達する迄は表向の方法では送籍は出來ませぬ、失踪の宣告を受たらよいのですが、之も行方不明になつてから七年經たなくてはなりませぬ

落付かない娘

年頃になる娘事、どうしたものか、此頃落つきがなく、凡つ兎角物が忘れ勝ちです、如何したものでせうか（其母）

婦人病の爲のともあり、又何か人に話されぬ惱みを持つて居る爲めのともあり、またあまり面白くない病氣のきざしの爲めのともあつて、此樣な簡單なお手紙では何とも御返事も致し樣もありません、今少し詳しく、若し、直接尋ねもし、或は其友人に打開けてお聞きなさるなりしたならば、原因も想像がつきませう、さうしたら更めて考へを申述べませう

◆生れた子の屆出、家出した私を尋ねて、兄と一所に來た女が出生したのですが、兄は病氣の爲子供は如何に屆けたらよいでせう（月陰の子）

代書に出生屆を書いて貰ひ兄上より町役場にお屆けなさい

◇瘰癧の簡單な療法

二年程前から瘰癧が出來て困つて居ります何か自宅で簡單の療法でも御敎へ下さい（品川女）

▲お答へ ルイレキは淋巴腺結核で打捨て置くと其結核が其他にも移つて大變な事になりますあなたが方々の醫師に診察を受けて何等の效果がないのならば光線の治療でもなさい、自宅で直す方法などは勿論ありませぬ

公設市場の移轉

京町市場は漢江通りへ　鍾路市場を西大門へ

府內には鍾路、花園町、明治町、龍山京町の四箇所に公設市場があるが龍山京町市場は地の理よろしきを得ざる爲日用品の賣行き捗々しからず且つ一般需要者の希望もあり府當局でも明年度の移轉を以て現市場を漢江通りに移轉すると共に鮮人相手の鍾路市場も經營よろしきを得ざる爲か成績極めて不良なるより適當の施設をなすの計畫あり又西大門方面にも公設市場設置要求の聲盛なるより當局でも充分調査の上其必要を認め居る模樣なれば多分來年度の豫算に計上さるべし

婦人職業のエピソード【二】

生徒の心を自分の愛の中に抱擁し得ない悲しみ

婦人職業の一つとして比較的社會からも認められてゐる女敎師の其の敎壇に立たる、態度は流石に其の昔嚴な師範の學園に培はれた人だけに所謂敎育者型といつた

一種の緊張 した樣子の小學兒童或は若やかな女學生を前にして其の心々に交つて過ごさる、心の狀はいかにも微苦に滿てるもの、樣であるしかし個性さまぐの幾多の生徒、敎育の上には少からぬ苦心と努力とが拂はれて居るやう

其の秘めら る、痛い惱み　心と微この人達に最も痛い惱みである結婚について其の眞感をたづねると某女敎師は語つて敎育者としての惱みも樣々ありますが、中でも女敎員の命として最も重視せられてゐる、愛情の敎育には最も苦心する處でありまして

或る場面 に遭遇して生徒の心を充分に自分の愛の中に抱き得ない事程、敎育者としての苦痛を感じるものはなくて其時は身に受ける屈辱よりも父兄嘲笑よりも甚だしく遂には敎育者にもなり得ないのかと人知れず泣かされます、それに又

眞に敎育者 にならうとして行く上には或は純な感情或は若い乙女それぐの氣分を理解しそれに合致させて行く事で、之にも又一寸悲しい追憶のあるものでありますそうして最も女敎員に痛く感じますのは社會の誤解です、指導者としての立場を持つて

男子の職員 達と交り並行して行く上には餘儀なく女として比較的强い點もなくてはなりませんか、當然あるべき此の强さを或は嫉しみのない女或は女の生命を沒却したものとして評され一般に女敎員なるが爲めにといふて遂には結婚難の一因ともなる有樣です

オトギバナシ　造花の薔薇

小森田芋村

久子さんのお家が他所から今のところへ引越して來たのは五日ばかり前でした。

久子さんのお家には可愛らしい猫が飼つてありました。名をマルと言ひました。

マルは引越した日から今日までぢつとお家へゐました。何處へも遊びにはでかけませんでした。

今日の夕方マルは初めて外へ遊びに出かけました。すると近所の猫が五六匹マルを取り卷いて、

『お前はわれ／＼と遊びたいのか』と、言ひました。マルはお辭儀をして、

『どうぞ遊んで下さい』と言ひました。

『よし、遊んで上げよう。併し遊んで貰ひたけりや何か珍しいものを持つて來て、われ／＼に出したまへ』

と一匹の猫が言ひました。

『何を持つて來て上げれば好いのですか』

と、マルはその猫に尋ねました。

『何でも好いから珍しいものを持つて來たまへ』

『ぢや何か持つて來ませう』

と、マルは急いでお家へ歸りました。

『さあ、何を持つて行かう』

と、マルは暫く考へてゐましたが、その時マルの目についたのは久子さんのお机の上の一輪ざしにさしてあつた造花の薔薇でありました。

『あれが好からう』

と、マルはその造花の薔薇をくはへて、猫どもの傍へ驅けて行きました。

『何を持つて來た？』

と一匹の猫が尋ねました。

『薔薇の花です』

『妙なものを持つて來たね、食べられるのか』

『いゝえ』

『なぜ鰹節か何かを持つて來なかつたんだ』

と、もう一匹の猫が珍しがりました。

『鰹節の方が好かつたのですか』

『無論だ』

『ぢや鰹節を持つて來ませう、鰹節よりも薔薇の方が珍しいと思ひましたから薔薇を持つて來たのです』

マルはかう言つて造花の薔薇をくはへて、鰹節を取りに歸らうとしました。すると最初の猫が呼びとめて、

『一寸待ちたまへ』

呼び止められてマルは振向きました。

『もう好い／＼、鰹節を取りに歸るには及ばない、實はわれ／＼は鰹節には飽きてゐるんだね諸君』

『うん、／＼、さうだ／＼』

『僕は……』

と鰹節を持つて來いと言つた猫はかう言つて口ごもつて、

『さうだ僕もさうだ、鰹節よりも薔薇の方がずつと好い』

マルは薔薇を前に置いて、

『さうですか、それでは今日からお友達になつて下さい』

『なつて上げるとも／＼』

と、猫どもは口を揃へて言ひましたとさ。（をはり）

今日、明日、明後日

朝鮮鹿島會　六日午後四時より朝鮮鹿島會本部は光化門通り警官講習所道場に於て武德會範士井上平藤十郎氏の來鮮を機として歡迎を兼て月例柔道稽古會を開催する筈なるが市內有志者の來場を希望すると會費不要。

各郡警察署擊劍會　熊本縣出身にして大日本武德會劍道範士たる井上藤十郎氏の來城を機とし府內各警察官の擊劍會を五日午後一時より昌德宮內警察署道場に於て開催し府內劍道敎師及他の有志も參會せり

關釜連絡船

◇發　朝　六、五〇　夕　八、三〇

六日　朝、壹岐丸　夕、高麗丸

七日　朝、博愛丸　夕、新羅丸

八日　朝、壹岐丸　夕、高麗丸

日滿飛行決定

二十九日所澤を出發す

中尉、依田特務曹長、小澤軍曹の乘れる飛行機は（中略）廿四日所澤九州太刀洗間▲廿五日太刀洗滯在▲廿六日太刀洗京城間▲廿七日京城新義州（同所に於て支那官憲の機…）奉天間

乃通信連絡のため▲第一區間岡山松山以東（區長中川寨中佐）▲第二區松山沙河朝鮮海峽中央以東（區長□□少佐）▲第三區海峽以北奉天（區長御原少佐）所在地所澤▲第二區所在地太刀洗（…）…

…四五名の警官が乘込み本署に於て嚴重取調べ中なるが名が車座になり盛に賭博開帳中…何れも住所不定の鮮支勞働人夫

生命には別條なし（以下不明）

腦病良藥レーベン

發賣に關する吾人の責務

腦病患者の忌憚なき御高評を仰ぎたし

▲レーベンの眞價に對する吾人の自信

不肖、中南定太郎、本紙を通じ、世の腦神經ヒステリー患者諸君に一言す。諸賢は日々の新聞紙上を通じて、吾人が發賣しつゝある腦病藥レーベンの名を御記憶下さることでせう。そして既に御愛用の方もあれば、一度試みやうと御思案中の方もありませう。然して、その卓越せる效能を御賞美の方もあれば世間並のありふれた藥として御輕蔑の方もありませう。不肖、東亞の天地にレーベンを稱し民間藥中の權威劑と稱し得る所以は、徒らに誇大的の文字を羅列するのでなくて、此の間、確固不動たる自信と、光輝ある過去の歷史とを有するからであります。茲にレーベン發賣に至るまでの苦衷を公開して、比類少い效能の實地御試驗を切望する次第であります。

▲一顆のレーベンに宿る尊い露

抑々レーベンは、醫學士常持爲治氏が、日に月に激增する腦神經ヒステリー患者を救濟せんと思ふ、國家的義心の發露を動機として、發見に努力せられたものであつて、その心血を注がれたのは、原料たる藥草の選擇であります、吾人又之れが製藥者たるの責任を全うする爲め、和漢藥の研究の目的を以て、先年幾多の危險を冒して、支那內地を視察研修し、歸朝後、之れが淸淨なるレーベンの原料を得んことに腐心しつゝあるのであります。由來レーベンが他の腦病藥と其の質を異にしてゐる點は、（一）米麥を常食とする日本人の體質に適合すること、（二）大黃主劑の下劑藥でないから、服んでも腹痛や下痢を起さぬこと、（三）腦の疲勞を快復させる高貴藥リンサンを多く含んでゐること、（四）和洋漢藥の長所を折衷した新型錠劑であること等で、その效能は岡田醫學博士、森醫學士、北米のロビンソン博士、陸海軍大醫官等が口を揃へて有効證明や賞讃の辭を呈しておられるので明かであります。

近時製藥法に關しては、吾人指揮の下に、パッチエラ、オフ、ケミストリー、マグン氏を監督とし、加藤技師を始め、白衣に包まれた多くの工男工女が、專心誠意製藥に從事してをります。殘暑の今日、腦神經ヒステリーに惱む諸賢は、此の如く苦心の末出來上つた所謂靈藥『レーベン』を是非一度試みて、吾人が公言する眞理をご證明下さい。

▲腦病全治の秘書無代配付

今や腦神經病は文明病、現代病として慢性流行病の形ちで蔓延しつゝあるのであります。不肖、此の傾向を歎過するに忍びず、茲に、坪田醫學博士、森學士、常持學士に依囑して、

▲『精神療法』『腦神經衰弱療法』

二冊を編纂し、世の腦神經ヒステリー患者に無代頒布しつゝあるのであります。その版を重ねること百數十版幾多の患者諸君に滿足を與へたこと、信じます。患者諸君は此際ハガキで申込次第、レーベンの服用と否とを論せず、無遠慮申込あれば社會の爲め無代で送本をいたします、申込所は次へ

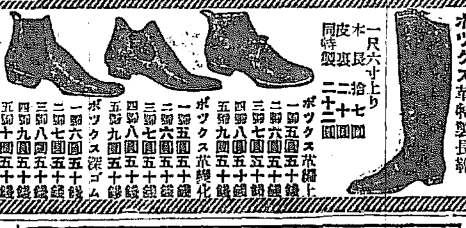
藥價　小袋十錢　一圓　二圓　三圓　九圓五十錢　十圓

本舗

東京京橋區町二ノ二一（振替東京七七七七）弘濟藥院　中南定太郎

大阪東區安土町堺筋（振替大阪三〇八）（電話本局三〇〇七）弘濟藥院　中南定太郎

東京三金の靴



ボックス革特製長靴　一尺六寸上り　本底　二拾七圓　皮裏　二十圓　同特製　二十二圓

ボックス革編上　一號五圓五十錢　二號六圓五十錢　三號七圓五十錢　四號八圓五十錢　五號九圓五十錢

ボックス革短靴　一號五圓五十錢　二號六圓五十錢　三號七圓五十錢　四號八圓五十錢　五號九圓五十錢

ボックス深ゴム　一號六圓五十錢　二號七圓五十錢　三號八圓五十錢　四號九圓五十錢　五號十圓五十錢

目錄寸法用紙要二錢

御注文の節は靴の種類と足袋の文數通知あれば代金引換小包送料實費にて御送附申上候

▼卸賣御希望の方は特別割引便宜御相談に應じ可申候

東京市芝區愛宕下町　三金高等靴店　電話芝（六九）六五〇　振替東京一七一一三

キゝメ早キ　りん病藥　リベール

うみ・いたみは特製リベール五日分でとまる

惡性用特製　五日分二円　十三日分五円

輕症用　五日分壹円　十日分貳円

送料內地十二戔　海外四十五戔

發賣元　大阪西區九條通四丁目　九條藥局

東京總代理店　竹村辛大郎

振替大阪二三三三番

全國到る處藥店にアリ

當る九月八日より名優再び京劇に開演

初日藝題

前狂言　有職鎌倉山

中狂言　阿波の鳴戸

切狂言　神靈矢口の渡　四幕　どんどろ

○今回は我當、荒九郎、廣笑等を組織いたしました是非御後援を願います

○二十名以上の團隊は特に御相談に應じます

○切取りは前日又は當日午前中に申付け下さい

八日より十二日迄　五日間日延なし　毎日午後四時開演

株式會社　京城劇場　姬野興行部　電話五七八番

ゼニワ石鹸

傳染病科（結核、梅毒、痳病其他）小兒科　中谷醫院

（咯痰、尿便、血液、細菌）檢査需に應ず

京城大和町二丁目　電話一〇三三番

橙酢の素

晩餐の酢料理に良く利いて味のよい

各地食料品店八百屋に販賣す

大阪谷町五　住吉屋

代理店下關市東南部町　株式會社有光商店　電話六六五、一〇五七番

瀨戸外科皮膚科醫院

（診察夜九時迄）（電話二四九八番）

京城旭町二丁目　醫學士　瀨戸

肺結核特効藥

ネオヨヂンゲン　チエコール一號

注射兩三回にて咯血血痰全止し食慾增進し十回位にて熱下向し血色良好となりラッセル全止又は幽谿に減少す殊に注目すべきは結核患者の併有病たる神經衰弱は多く四五回にて全治し精力充實する事也靜脈注射巧妙なる醫師に注射を乞はるべし

注射代用內服藥にして六％の沃度は淋巴球を卅多して結核菌を殺滅せしめ配合劑は咯痰制止健胃鎮咳咯血及腸結核擁防等の効を上ぐ

詳細說明書治驗例ハガキにて御申込次第進呈

二十日分　三圓六十錢　全國著名藥店にあり

品切の節は發賣元へ御下命を乞ふ（送料不要）

發賣元　大阪市備後町・東京市本石町　高木商店藥品部

東京蒲田 日本自動車學校

抵抗試驗を甲種自動車運轉手に最高率合格し低過就職成功容易なり

學則案內書八十頁を無代進呈す　先づ東洋第一の教授設備を參觀せよ

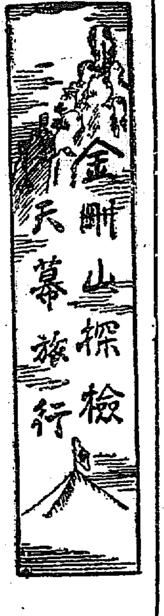
【平壤特電】陸軍飛行大飛行は航空學校教育部長河田大佐統裁の下に愈來る二十四日より開始する事に決定せるが使用飛行機はサルムソン二百五十馬力四〃にして操縱者は樋口、今田兩機體は之を解體し大連經由內地に輸送の筈
▲廿八日　奉天滯在▲廿九日　奉天長春間▲卅日　飛行終了

踏切下の賭博

四日午後四時頃龍山鐵道野球場附近の線路踏切下の沙原に鮮人と支那人七八名集り賭博を…其中に於て…勝負を競べゐたを氣付かず…直に警察…入口より這入り…一齊に捕縛し目下…

人を斬る

琵琶醫者消設は天安邑內福台樓の…を斬りつけたる椿事あり…臨…台頭は同醫者に思ひを寄せ居り…途同樓裏桐林迄歸り道すがら隨分皮肉なる要求を重ねて見せ矢庭に隱し持ちたりし匕首ばか…氣も附人殺し〳〵と大音擧げし爲め居合せの近隣の者の來たり漸く樓內にかき込み早速合島醫…と思ひたるにや直に警察に自首せりと



オヤ火の手が見ゆるぞ

焰々天を焦す野火と山中に所を誇る芥子畑の阿片密栽培

特派員　田邊椋鳥

やあ、火事だ、火事だ……。ナニ家らしいって……。怪しいぞ、そいつは油斷がならぬ……。一行は斯うつぶやきながら燃ゆる林の彼方を望んだ。進るない、確かに家だ、諸君萬一の用意をし給へ……ひよつとしたら山賊の仕わざかも知れんぞ……。武井君が一同に注意すると、ヨシ來た

大丈夫だと　皆んなで答へる、そして炎々たる烈火を目がけ一行は足もとに構ひもなく谷を二丁程草地に驅けのぼつた此時一條の小徑が雜荷は暗い密林の中からそツと谷川に臨んでゐるのが早くも一行の眼にはいつた。しめた、この徑を行けば進るない……。一行は勇氣をはげましつゝ躍り込むやうにして密林に分け入る恰度二丁程行つた頃であつた、驚くべし一行の行途に當り俄に人の氣配がしてカサコソと林をかき分ける音がする。しまつた、逃がしたぜ……。大熊山林主事が斯う啼くと身體なら六尺豐かもあらうと云ふ鬼王樣のような陣內君やれ〳〵それで安心した、ほんとに敵對されやうものなら今日限り彼の子に逢へやしない……。とふざける、それから二分時も經つた頃だ、俺達

深林と思つてゐた行く

手は俄に切り開かれて野原となり一行の近づくに從つてそれが眼も醒るやうな花畑であることが判明した。オヤ、火の手が見ゆる……。

鮮人が逃げた……芥子畑、芥子畑……分つた阿片の密栽培だ……。縱けざまに一行の舌端をほとばしる斷片的な言葉はすべてを物語つた、しかし一行の面には何れも恐怖の色が漂つてゐた……敵は果して幾人なるか、眞つ向から來るなら敢て辭せぬ、けれど橫合から突き出された手鎗の鎗先には逃れ得ない……暗鬼は電のやうに胸間をひらめく、前途は一歩も忽にしてはならぬ諸君大事を取れ……。と武井君が警告する。一行は此より腹這ひとなつて叢を分け芥子畑のほとりに出た、畑は

面積二反餘　見事深林を

拓いて培はれ幾萬とも知れぬ芥子の花が輝く烈日の下に咲き亂れてゐる。此所では火が見ゑない、もつと北へ寄れ……。島村循伯の勸めにより一同は衛生方も腹這ひのまま約五六間程行方に寄つた、そして協議の開…をあけつゝドッと一時に畑中へ躍り出た、しかし幸にして何者もゐなかつた唯畑の北方にある二戸の溫突小屋が畑守の手によつて火を放たれ物すごきまでにメラ〳〵と燃えてゐた左のは建坪三坪位、右のは十坪以上もあらう乎、小屋は名狀なく烈火に包まれ颯と吹く一陣の山嵐に煽られてドッと火の手を蒼空にあげる。燒きたゞれた柱を珊瑚と見れば

松葉屋根は　黃金の瓦と

も見れもる、燦々と立ちのぼる焰の中に閃いて紅蓮の花と飛び金の雨と散り四邊の綠樹と映發する奇しき美觀、一行は覺えず『痛快』を連發する。約二十分時にして棟は撓つと落ち火の粉急霰の如く四邊に散つて、何者かの建てた溫突小屋は遂に灰燼に歸してしまつた、此時同行の大熊氏は地圖を指つゝ左の如く語つた、此所は日出峰と內霧在嶺の中間で淮陽郡界より東方七百米突の地點であります、他も通はぬ密林ですから恐々火を放つて開いたものらしく、そして阿片の密栽培をやつてゐる者に相違ありません、勿論私の保護區內ですが一人や二人の巡視れる處でなく警察では來られる場所ではありません、何にしろ見つかつたが最後ですから常に張番をして官憲の襲來に備へいざと云ふ場合には證據物品を燒き拂つて姿をくらます手段なのでせう、今日も吾々一行を官憲の襲來と早呑みして火をかけ逃走したものに相違ありません、何にしろ普通人の來る所でないのですから

十人と團體を組まない

の方々でも來られる場所ではありません、何にしろ見つかつた…一行は安堵の胸を撫した、そして直に前進しやうとしたが阿片密栽培とは怪しからん奴、見つけたら打つた切れとあつて一同俄に雄勇を發揮し武井君が長く日本刀を拔き拂ふや、矢庭に芥子畑へ闖入しつゝ劍光燦爛あたりかまはず薙ぎ倒す（長安寺北嶺にて）

腹癒せに嫁を虐めて

江原道伊川郡西面上不岩里鮮人彥妻柳氏（三）は伜の嫁李姓女（一）が姦通してゐると吹聽したのを憤慨して惡意な隣家李泰石の妻池姓女（二）と一緒になつて柳氏を裏畑に引き出し繩で桑樹に縛し剩さへ口中に人糞を押し込んだ爲め不法逮捕、暴行罪として檢擧された處から其の腹癒せに柳氏を名譽毀損として告訴した、事件は二つに分れ京城地方法院春川支廳で柳氏は罰金五十圓に處せられ同時に李姓女は懲役八月池姓女は同四月の判決を受けたので柳氏は其の儘服罪、李池兩女は不服として控訴の結果五日京城覆審法院吉田裁判長、杉浦陪席判事係公判開廷となつた、裁判長は被告等が柳氏の口中に人糞を塗込んだ模樣を詳細に取調べたので兩被告は反て重刑を課されるのを恐れ控訴取下げ服罪した

お久々に兩陛下と御對面

たん父陛下へは黃金色角製短杖　たん母陛下には白金の御頸飾の　御土產品を御贈呈あり

【日光發電】日光に於ける東宮殿下には田母澤御用邸に御著あらせらるゝや澄宮殿下には玄關迄御出迎へあらせられ御同伴にて兩陛下の御座所に成らせられ久々にて御對顏あり御土產品として美麗なる黃金色角製洋杖を桐筥に納められたるを聖上陛下に又佛蘭西パントーム商品店に於て殿下自ら御買上げの白金寶石を鏤めたる御頸飾を紫ビロードの筥に納められたるを皇后陛下に御贈呈遊ばされ次いで英國皇帝陛下をはじめ各國元首より陛下に對する御傳言を傳へられたるが此間約三十分、折柄日光小學校生徒の旗行列が御用邸附近に進み來れるより殿下には玄關に出御あり五分間に亘り御佇立あり小學校生徒の熱誠なる奉迎に御會釋を賜はり再び御室に御返りあり御巡遊中の日記を陛下の御覽に供して種々御物語あり五時附屬御用邸に入らせられたり

御弟宮とおん欒

日光御用邸に御一泊

【東京電話】皇太子殿下には既報の如く四日日光田母澤御用邸に伺候し天皇皇后兩陛下に滿六箇月振にて御對面久方振の御物語遊ばされたるが折柄御參邸の久邇宮殿下に御對面遊ばされたる後更に午後四時四十分日光驛御奉迎御參邸遊ばされたる淳宮、高松宮の兩弟宮と御物語り遊ばされ晚餐を共になされ同夜は御用邸附屬邸に御一泊遊ばされたり

日光に天機奉伺

無事御歸朝の御悅びを　供奉員

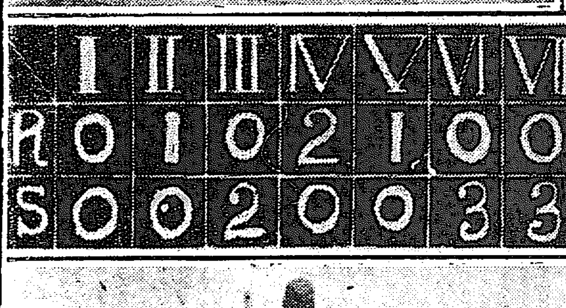
【東京電話】皇太子殿下御外遊の御歸朝の御悅びを閑院宮殿下を始め奉り珍田供奉長を除く各供奉員小栗司令長官等は一同打揃ふて五日日光田母澤に伺候し天皇陛下に拜謁を賜はり天機を奉伺し東宮殿下無事御歸京恐悅を申上げ猶滯りなく任務を完了せる由を言上せり

御物語盡させられず

【日光發電】久々にて御對顏あらせられたる東宮殿下の御物語は却々に盡き給はざるにより四日午後五時皇后陛下御同列にて附屬御邸に成らせられ六時にはフロックの御禮裝にて皇后陛下と御一所にて御用邸に御出ましあり兩陛下並に三皇子殿下と共に御團欒の食卓に著かせ給ふ御獻立は東宮殿下の御嗜好し給へる日本料理を揃へられ御食後には日光學生青年團一千名に對し御車寄に於て一々御會釋を賜はりたり

寫眞說明

【上】龍山軍森川ちづ本壘に突入る【中】スコアの【下】三壘に辷込む大毎軍小野



入學志願者激增

大正十年度京畿道管內に於ける公立普通學校入學志願者の總數は一萬二千六百二十九名にして內入學を許可せられたる者七千六百二十三名なり猶書堂就學私立學校入學、講習會入學等の爲公立普通學校へ入學すること能はざる者三千二百十名ありと以て一般向學心の發せしことを窺知するに足らん

大分縣視察團

大分縣に於ける學事視察團約三十名は左記日程に依り京城及仁川の學事視察を爲す由
▲九月十六日午後十時四十分南大門驛著▲同十七日京城滯在▲同十八日仁川往復▲同十九日午後十一時南大門發平壤に向ふ

京城專賣支局の庶務課長自殺す

時刻　五日午前十時半
場所　大和町三丁目
原因　病氣を苦にして？

五日午前十時卅分頃京城專賣支局庶務課長福井生磨氏は大和町三丁目印刷所背後の私宅奧の間に於て剃刀を振ひ頸部動脈を切斷して自殺したるが家人は直ちに發見して專賣支局へ急報し支局長

佐藤

支局長宮野會計課長は先づ自動車を馳せ付けたるも福井氏は既に絕息して術の施し樣なく支局員友人知己は丘上に天幕を張りて訪客の應接に盡して居たが本町署よりは二階堂警部補は出張檢死を行つたが

自殺

と認定して遺骸は家人に引渡したが當時の模樣を聞くに夫人は勝手の板の間にて髮を結むで居た際奧の間にて微に苦悶の唸が聞ゆるを訝しみつゝ襖を開けた時は室內は血の海となり福井氏は斷末魔に迫つて居たので驚きに打たれ

夫人

は直に數十間隔りたる印刷所事務室に急を告げたれば馳せつけた人々は種々手當を加へんとしたが已に其の時は及ばなかつたのであつた、自殺の原因は未だ判明しないが記者の探聞する處に據れば福井氏は轉任早々胃潰瘍を病みて福岡大學病院に

入院

加療して二週間以前に歸鮮したばかりで血色は頗る良く主治醫は元氣に執務したが別に變態な風も無かつたと言へば五日午前發作的に精神が異狀を呈したものであるらしと記者は同家を訪ひたる時は十二時にて

訪問

客は溢れて打ち濕つた空氣の中に程近き曹溪寺の鐘は陰々と鳴り響いて初秋の陽に燒けた庭には松葉牡丹は眞に赤に咲いてゐるのも哀れであつた『思ひがけぬ事で何とも言葉の出しやうがありません』。

櫻井

學校より歸られた御子供衆は父の死を既に諦めては居りますが小さい子は譯も判らず無邪氣に眼を瞬いて居ります、奧樣と子供は男女二人宛四人です、此の家は官舍のないために一ヶ月ばかり前に寄寓して居た親戚の坂本醫官の御宅より移轉されたので

原因

はまだ判りません病氣上りに種々思詰て世を果敢なむだのでせう』と親戚の一人に語つた

馬賊一千名

琿春西北一里に跳躍す

【間島特電】四日午後一時琿春西北一里の地點に馬賊一千名現れしを以て在留民は避難の爲め困亂の狀態にあり我が居留民も亦恐慌を來し老幼婦女の全部及び男子の一部は四日夜十時出發處源に避難せり目下琿春市街は上を下への混亂狀態にあるが其後得たる情報に依れば四日夜は無事に經過せりと

琿春再び騷然

馬賊王德山の襲擊說に（軍司令部著電）

馬賊頭目王德山の部下約四百（或は六百五十とも稱す）は九月四日琿春を距る西北約三里半の地點關門咀子に到著し將に琿春を襲擊せんとする情況に在り確の報に依れば彼等は關門咀子附近の山中に於て豚を屠り神を祭り互に琿春襲擊を宣誓せりと謂ふ琿春に於ける住民は戰々兢々として避難民簇出しつゝあり

職務として至當の處置たるを確信す

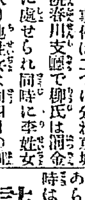
中野前署長の取調　四日は日曜でも開廷す

【大連特電】阿片事件公判は三日遞藤、井上…廷中野の訊問續行せらる中野は關東廳阿片政策に從ひ民政署長の職務として至當の處置を取りたるを確信すると云へる最初の計畫に依り四日は日曜にも拘らず開廷中野の訊問を續け阿片の利益を收受せしは新聞又は他公共事業に使用する旨を申立阿片の保管したるものなりと申立一と先づ取調べを終り次に森上の訊問を終りたるは四時なり之より辯護士の被告に對する訊問あり夜に入りて閉廷せり

我童、荒五郎　嚴笑一座

八日初日開演

京城劇場九月興行は愈我童、荒五郎、嚴笑大名題が七日入城八日より再び上演されることになつた初日は京城化粧品共榮會の總見等あり第一流くなつた贔屓連の順次花柳界其他各方面の後援部後援のクラブ等あり是非いふので早見した人達も今度はも各優得意の演し物殊に荒五郎の嚴兵衛は天下一品の稱へあり旁定めて盛況を呈するであらう初日の藝題及び主なる役割左の如し
一番目『有職鎌倉山』四幕中幕『阿波鳴門』どんどろ大師の場一幕切狂言『神靈矢口渡』一幕
佐野源左衛門（我童）源賴朝（荒五郎）…（秀次郎）…



龍虎相擊つ

龍山クラウンドの壯觀

球狂の待ち詫びた大毎軍對龍山軍

大毎八對アルファ龍山軍四

永い間球狂が待ち焦れた時は來た溽暑の氣充つる龍山のグラウンドに日本一の稱ある大毎の選手チームを迎へて朝鮮體育協會が代表する龍山チーム龍山軍が何れ程までの決戰を見せるであらうか

滿

都の球狂は取り〳〵の噂に其のグラウンドに乘り込んで行くこと早く早くも正午頃から續々と集り午後一時頃には場內立錐の餘地さへ無くその數怒に一萬を超過して了つた。此の觀衆に取り卷かれた設備整然たるダイヤモンドその中に映ゆる

白

線は戰前にして球狂は既に片唾を呑み手に汗を握つて居る。零時半龍山軍先づ入場して元氣あるフリーバッチングを始め相當の當りを見せ一時を過ぐる頃滿場の拍手に迎へられて大毎軍は見事なるユニホームに身を堅めて悠々と

場

內に勇姿を運び直ちにフリーバッチングに移り。長打に痛打に百戰練磨の妙技に歡聲な漲らしめた。二時十五分松浦球審のプレーボールの聲にて柴田學務局長の始球式に捕手に達し龍山軍の先攻にて試合は愈々開始された

龍

山軍は緒戰を安打に陸き又敵失を利し第二回に捕手井川の失に森川生還して既に一點を先取した滿場湧き返り總立ちとなり歡聲は凄まじく盛んだ其に明き上つては心強く流れて行く然し老猾の大毎猶色なく變ぜず第三回には井川三壘上を越す安打內海亦安打して龍山の牧打に迄られて共に生還し

一

擧二點を得て一點を勝ち越す龍山軍の意氣は愈々非常なるものあり第四回には鈴木の二失を利して森川小西生還し又々二點を奪ひ返し五回には松島の遊擊後の安打にて網干生還亦一點を加ふるの有樣に觀衆の騷ぎは今や絕頂に達し球場の聲さへも騷音の中に埋るゝ有樣となつた

第

六回に龍山が無防に過した後を受けて大毎は日下鈴木四球を利して出で小野の安打に迄られて續いて生還二點を奪ふと見る間に澤の見事なるバントは小野をも生還させて大毎軍勝數の第一步を踏み出して了つた。第七回に又三點を加へ八九回には相手入らず途に八アルファ對四にて大毎の勝利となり龍山軍は惜しい機會を失つて了つた

第

一回戰に於て龍山軍は死に角も見事の勝負を見せた殊に其の元氣は大毎軍を凌ぎ大毎軍をして狼狽せしめた事は頗る試合慣れない同軍に取つては充分の出來であつた。大毎軍も第一回戰に於ける如き

連

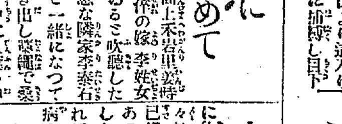
失不元氣にては球狂の期待に反するものが多い。兎に角共に第二回戰を待つて解決されなければならぬ
因に龍山對の第二回戰は同山グラウンドに於て六日午後四時より開始されるので入場料其他は第一回戰の通りである

大毎軍

		打數	得點	安打	三壘打	犧牲打	盜壘	四球	死球	失策
8	總山	2	1	1	0	1	0	1	1	0
7	田口	3	0	0	0	2	0	0	0	0
5	日下	3	2	0	1	0	1	1	0	0
1	森	4	0	1	0	0	0	0	0	1
4	森木	2	1	0	0	0	1	2	0	2
3	小野	3	1	2	0	0	1	1	0	0
9	澤	3	0	0	0	1	0	0	0	0
2	井川	4	1	1	0	0	0	0	0	1
6	內海	4	2	3	0	0	0	0	0	2
		28	8	8	1	4	3	5	1	6

龍山軍

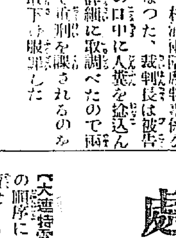
		打數	得點	安打	盜壘	三振	失策
3	網干	4	1	1	1	1	0
9	杉島	4	0	1	0	0	0
4	細野	4	0	1	0	2	0
2	駒井	4	0	0	0	1	1
1	森川	4	2	0	2	1	1
7	小西	4	1	1	1	0	0
8	松島	4	0	1	0	1	0
5	佐藤	3	0	0	0	2	2
6	千葉	3	0	0	0	2	1
		34	4	5	4	10	5



理想的の履物　總ゴム…籐表式　萬年雪駄

候表型も裏面も全部優良のゴムで五六囘の高尚製品より數倍で丈夫で步行に輕快で來て優美で洗へば新品へ…三年も二年も減らぬ萬年雪駄の履物、眞に經濟無類の理想的履物として賞讚を博しつゝあり今回發賣披露の爲め一千足限り特別大割引男物も女物も見本一足代金壹圓九拾錢 ハガキにて注文次第代金引換送料無料（特約店大募集）
東京市淺草區瓦町二八　內外商事會社　電話下谷七六二　振替東京五五九六

▲產婆生徒募集（規則要郵券）福岡市外…　福岡產婆養成所



蠅取デー？　總督府並に警察衛生課御用品
發賣元　京城本町…　代理店　木村藥房　山岸天佑堂
各藥店雜貨店にあり特約店希望の方は御照會を乞ふ

京日案內

職業　特約店募集　…友榮商店
小店　…辻本商店
古本　…
小店　…
被雇　…
ほね　つぎ　…
古本　買入　京城本町二丁目　東京堂書店　電話三四二八番
ほね　つぎ　くうじき　…
讓店　…

岩崎大海堂セメン菓子　定價十錢●廿錢●五十錢●壹圓
美味なる虫下し最良劑　本舖　大阪天王寺　岩崎大海堂　各內外藥店にあり
蛔虫諸症　疳蟲々熱　夜泣の蟲　乳あまし　蟲腹痛み　疝熱の蟲　蟲胸惡く　勞熱の蟲　蟲せき　驚風の蟲　近來粗惡なる僞物續出す岩崎大海堂に御注意あれ

中村眼鏡店　京城本町一丁目（郵便局前）電話二三七番　振替京城三四〇番

父福井牛丸病氣ノ處藥石効ナク本日午前十一時死去致候此段御通知候也
追テ葬儀ハ明後七日午後四時自宅出棺途中葬列ヲ廢シ用分寺ニ於テ執行可仕候
男　潔
親戚　福井英雄　福井乙丸　坂本直一　紫田金五郎
友人總代　今村武志　佐藤英二

長女俊子儀病氣ノ處養生不相叶本日午後六時死去致候間此段御通知申上候
追テ葬儀ハ六日午後六時西四軒町自宅出棺途中葬列ヲ廢シ高野山別院ニ於テ執行可仕候
九月四日
父　寺田雄資
寺田淳吾
親戚代　向井義雄
友人總代　河口彌七　高島溪正

長男彌太郎葬送の際は殘暑殊に遠路之所態々御會葬に預り奉深謝候泥雜中御尊名伺洩有之哉も難計候に付乍略儀以紙上御禮申述候
大正十年九月五日
父　池尻林太郎
親族一同
友人一同

寛永御前試合

第七十九席

小金井芦洲講演

北條作州津山は浮田中納言秀家公の領分でございます、浮田家の家中に三輪重左衛門・伴野兵藏、柏木半介と云ふ三人、武藝に凝つて聊か腕前の出來る所から、密かに相談をして野中畑の稽古をして居たばかりではイザ出陣と云ふ時に甚だ心許ない、何でも實地に當つて見なければ眞正の術を究める事が出來ないと、生胴を試して腕前を鍛へやうと夜々此松並木へ出て行人を惱める、夫れが誰云ふとなく、天狗が出る〳〵と噂が高くなつた、今日も今日とて松並木に三人 半『此頃餘り噂が高まつて來た爲に、往來が少くなつて誠に不可んな 重『左様だ 兵『世間の中は然うでもないが、夜になるとまるで人間が不通だ 重『人間が不通と云ふのは可笑い 半『けれども一人も往來せんと云ふのは心細いではないか 重『何時も何だ、人間の選り嫌ひをするから往かん、今日は選り嫌ひをしまいぜ、どうしても武士の方が切り答へがあるが百姓町人でも、苦しからうが年が老つてやうが、然んな事には委細構はずやつつけやうぜ 半『宜かろう〳〵 兵『ア、來た〳〵 重『何所へ來た 兵『向ふから來た 兵『ウム月が朧で能くは分らんが坊主らしいな 兵『ウム坊主だ、鉦を叩いて念佛を唱へながらやつて來た 半『之は止さう、一人出家すれば九族天に歸すと云ふ位、出家と稱して居る者を切ると云ふは宜くない沙門に入つた者は切り悔いな 兵『馬鹿な事を云ふな柏木、今云つた舌の根が未だ干かん内に然んな事を云つて挪揄ひをして居ては矢張り今夜も切らず終ひで歸らなければならない 半『其は然うだ、ぢやア伴野やるか 兵『やつちまへ、腰に帶びたる一刀柄に手を掛け、待つ間程なく通り掛る、第一番に三輪重左衛門飛び出しざま、サッと眞向微塵と切り附けた、眞二ツと思ひきやヒラリ體を躱し、空を喰つて前へヨロ〳〵と蹌めく所を肩先をピシリ、アッと聲を上げてバッタリ倒れる、横合から柏木半助切り込むを同じく體を轉じて肩を拈たか打つ、之もドウと倒れる、伴野兵藏は叶はんと逃げんとするを追掛けて行つて持つてる得物で背筋をドンと突かれ、ウンと仰向に打倒れる 又『ハヽヽ、此頃世上に噂をいたす天狗天狗と云ふは汝等だな、其方共のやうな木葉天狗烏天狗は物の役には立たん、大天狗を出せ』三人ながら命からがら後も見ずにバラ〳〵〳〵逃げて行く、大口開いて打笑ひ、松原の木蔭の所に來て腰を掛て、又大天狗が來るであらうかと待ち受ける中間、又三郎其後は人ッ子一人通らない東が白んで烏が三聲を告げる △『モッ明るくなつて來たから歸らう』と城下の吉野屋へ戻つて來てドン〳〵ドン〳〵 又『コレ明けて呉れ、明けて呉れ』ドン〳〵ドン 又『まだ起んか、明けて呉れ 庄『ヘヱ 又『私だ 庄『何誰でございます 又『松並木へ出張して居た坊主だ 庄『ヘヱ…旦那々々 利『庄助何だ 庄『[illegible]つて來ましたぜ、當事と何とかは向ふから外れると云ひますがスッカリ算盤が違つて終ひました 利『馬鹿な事を云へ、天狗に遇つて敵ふ譯のものぢやない 庄『でも歸つて來て叩いてるぢやありませんか 利『叩いてるッて叩きやうが力が微い 庄『左様ですか……成程仰しやる通り力が入つて居ませんな、ぢやア殺されましたかな 利『あんなに口では立派に言つて百三十兩の金に思ひが殘つて幽靈になつて歸つて來たのかも知れない 庄『然うでございますかな夫だから力が入つてないんで……之やア大變な事になりました、旦那どうしたら宜うございませう 利『アー金は約束だから、私が貰ふうよ 庄『南無いつちやあ不可ません、念が殘つて幽靈になつて來る位だから、俺が貰うと棺中へ入れて御覧じろ、死靈の祟りで御客は一人もなくなり居の棟にペン〳〵草が生へます』

能治齒科醫院 仁川寺町二 電話二五〇

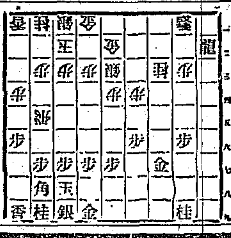
將棋新手合

第十三局(三)

於大阪市木見七段移轉披露會席上

香相引 △七段 矢野逸郎(大阪) ▲七段 溝呂木光治(東京)

は前號說終迄ハ局面 △持駒 溝呂木氏 角



△二六銀ナル ▲三四角 △一一歩 ▲二二… ▲同龍(ト) △九五歩(チ) ▲二二成香 △九六歩 ▲九八歩 △三八歩 ▲同金 △三五飛 ▲五六角 △五五歩 ▲四七角 △四五歩 ▲三六歩 △三四飛 ▲二三成香(リ) △七四歩 ▲三三成香 △同飛 ▲七四角 △三一歩 ▲六五角(以下次號)

講評

▲(ト)同飛は惡し二二飛と指す處なり

△(チ)九五歩は至當なる手なり

▲(リ)二三成香緩漫なり此處八三角なる同玉六一飛七二銀五二飛と指す方優れり

九月七日

(新暦八月六日) 水曜日 癸酉 六白 劍鋒金 赤口 鬼宿 除

▼六白▲變化多く進み過ぎ退き過ぎては後悔する日愼みを要す

▼七赤▲穩かなれ怠らずば八分の利益あり開店旅行結婚其他吉

▼八白▲利得と人望を併せ得べく女子は出世の端緒にありつく

▼九紫▲逆上の日活氣に乘じて妄進すれば失敗あり新事は見合

▼一白▲吉事續出の日他人の世話事を除く外は凡て何事も大吉

▼二黑▲居ながらにして功成るの日商取引に吉但し散財を誡む

▼三碧▲諸事徒勞に歸し易く無茶苦茶な事ある日新計畫控目吉

▼四綠▲周圍何彼と騒がしく利に疎き日寸時も心安らかならず

▼五黃▲瑞兆當に溯り諸事大[illegible]の日發子發女を定むるも亦吉

ロートヲサシテ パットメヲアケテゴラン ソノヨイ心地

目ニ見エテ ズン〳〵キク シマズ イタマヌ

井上博士ノ **ロート目藥**

ロート目藥には消毒した布と新案の点眼器を添ゑてあります。

定價(徳用壹圓・大瓶五拾錢・中瓶參拾錢・小瓶貳拾錢)

本舖 東京 大阪 山田安民藥房

◎全國各藥店にあり

六〇六注射代用藥内服セービン

梅毒に六〇六號是は何人も知る注射藥で先づ梅毒藥の王とも云ふべき藥であるが是とて三回四回もせねばならず從つて莫大な費用を要し又一つは自分でヒミツ治療が出來ぬ是を遺憾として斯界の大家ドクトル數常先生は同志の羽田醫學士等と謀りて注射に代るべき自宅治療藥を發見せんと永年苦心研究の上極く強度の内服藥セービンを發見せり是は六〇六號の化學的變化に基き研究せし物で是を内服すると忽ち體内にて化學作用を起し全身に廻りて淨血、殺菌、下毒の靈効を奏し如何に頑固な梅毒にも確實に醫治的効能を有するは満天下服用者の知る所にして日々實驗全治者より禮狀を寄せらる等實に非凡な効能を有す、かゝる良藥なるが故專門大家、醫學博士諸氏より實驗證明や賞讃を受けて居る此梅新良藥を知らず未だ同病に苦しむ人はハガキで左記へ申込め藥の說明書と容體書を密送す藥價一期用金五圓、二期用金拾圓、三期用金貳拾圓、試用分金貳圓、送料各十二錢カワセ又は振替にて送金せば嚴重な木箱に入れ密送す

東京市本郷區眞砂町九番地 仁壽堂 柴崎豊本店

大阪市南區堺筋清水町電停前 仁壽堂 柴崎豊支店

代理店 京城府本町四丁目木村眞三郎、龍山本町巴商會、平壤大和町森田、元山本町石田、群山神林、釜山辨天町大黑、藤田、外各地大藥店にあり

資本金五千萬圓 積立金貳千九百五十萬圓

株式會社 **第一銀行京城支店**

京城府南大門通二丁目九番地 電話長二一番 六二一番(營業用) 二三一 七番 六八番(各部掛) 貳五八 一番(將用) 振替貯金京城一一番

頭取 佐々木勇之助

支配人 藤森忠一郎

仁丹で悪疫を潰せ

悪疫には武器の進歩なく

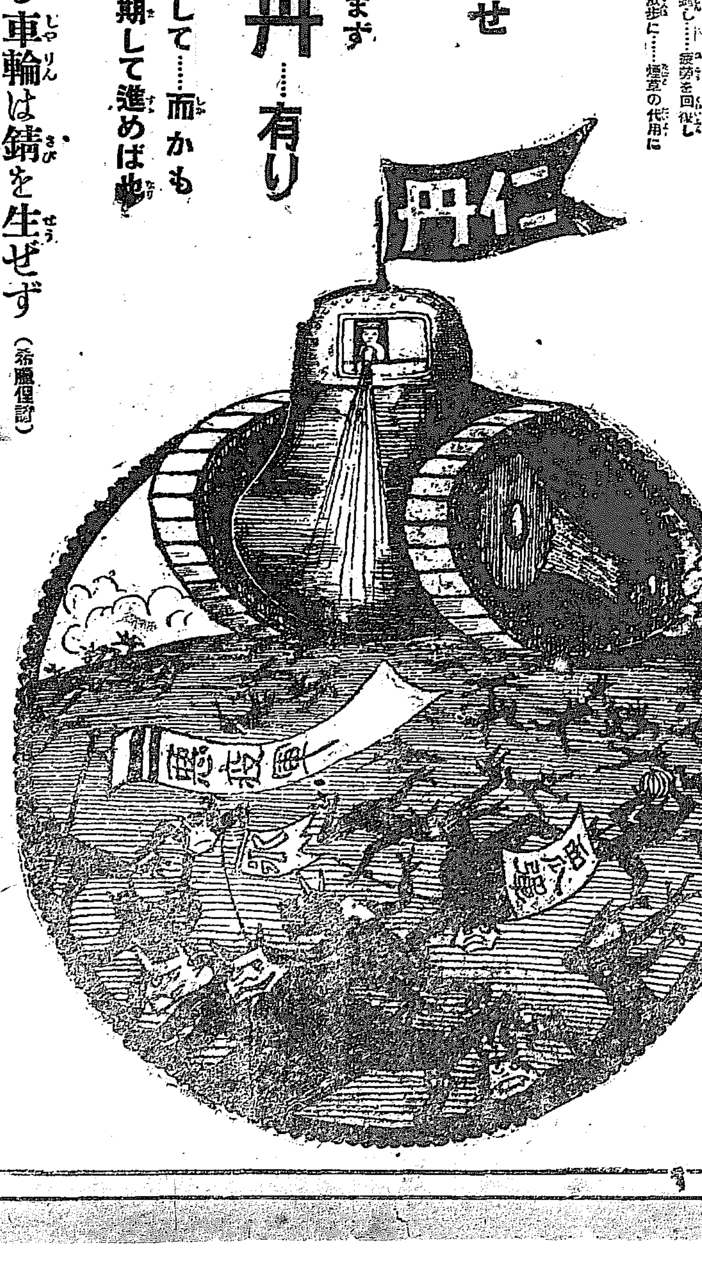
人の武器は進歩止まず

最新醫藥の精華……仁丹……有り

仁丹が誰にも好かる、……美味にして……而かも無限の靈効あるは……常に最善を期して進めば也

仁丹は胃腸を整調し……食慾を増進し……疲勞を回復し 頭腦を明晰にし……旅行や散歩に……煙草の代用に

金言 常に廻轉する車輪は銹を生ぜず (希臘俚諺)



賛化病院 京城漢江通一丁目 電話二四番

内科 小兒科 入院隨意

毎日五名を限り施療す

醫學博士 古城憲治

入院隨意

京城南山町二丁目六番(大眞婁より西へ三五〇角)

片山内科醫院 電話一九五一番

片山信夫

入院隨意

京城永樂町二丁目(商品陳列館裏門通)

酒井婦人病院 電話一八番 一六〇〇番

酒井一郎

脚氣貴重藥 エタイニン

旭藥品工業株式會社製造

本品は脚氣病に對して眞に神の如き卓効を有し輕症は〇、一瓦を含有する錠劑四乃至六個を以て根治し重症と雖も十五乃至二十個を以て根治せしむる貴重藥なり切に時賢の高評を俟つ

▼必治保證 ▼六錠二圓 ▼十八錠五圓 ▼注射液粉末あり ▼京城南大門通り三ノ八

說明書贈呈

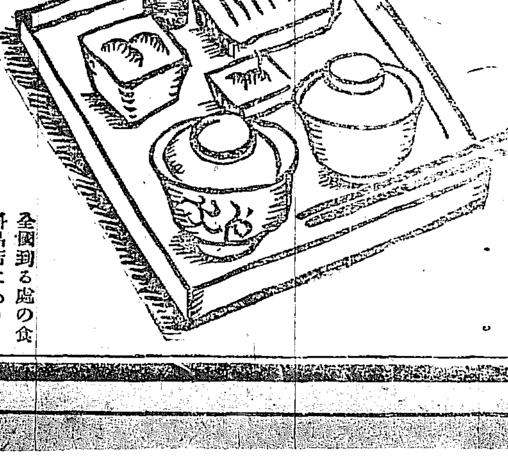
新井藥房 電話九〇四・一〇六八番 振替京城一一六番

味の素料理と聞いては食べずに居られぬ其美味しさ

原料は小麥蛋白質

味の素

あらゆる食物の味を美くする味の素は總ての點に於て他の調味料に優れて居ります、即ち使用法簡便にして容易く湯水に溶け少量にて美味を増し、變味腐敗の憂なく永久保存に堪へ頗る經濟なり。



全國到る處の食料品店にあり

設計監督 **中村建築事務所**

京城太平町二丁目十六番地 電一九七七

大連山縣通一〇〇 電二〇四五

東京赤坂區田町五丁目一番地 電新橋三七五六

朝鮮銀行建築顧問 工學士 中村與資平

獨逸工學士 アントンフエーレル

工學士 久留弘文

技師 岩崎德松

工學士 宗像主介

技師 [illegible]

……を以て本月初め……を資擁させ或は不當の税金を課し或は無意味の捕縛をなし或は罰金を科し種々壓迫の態度に出るを以て漸次支那人の怨を買ひしのみならず露國官憲は其間不逞支那人を煽動して漸次[illegible]の如きものなるを以て[illegible]人の多くは其商品を[illegible]港方面に輸送しつゝあり從來支那商人の手にて辛うじて維持されたる浦市の市勢も最早往き不可能と云ふ極めて悲觀す

綿布商總會

朝鮮綿絲布商聯合會にては來る十八日午前十時より京城ホテルに於て第二回總會を開催し左記案件に付協議すべしと

一、鮮内汽車運賃に關する件
一、内地積込附帶費に關する件
一、海上保險手續に關する件
一、内地延取引期日協定の件
一、全地より車船通し貨物保掛に關する協定の件
一、聯合會員に限り移入税賦手續便宜取扱申請の件
一、聯合會員相互取引紛糾を來した場合之れが協定方法に關する件
一、聯合會に於て綿絲布に關する調査機關設置に關する件
一、地方會員にして總會出席者には綿車賃か當會より一部支辨の件
一、聯合會員相互間に於ける手持品賣買の件
一、其他臨時提案

金堤東拓の移轉

矢野支店長談

私達の店は此の儘金堤に居座るか郡山へ出るか裡里へ行くかは大正三年頃からの問題でありましたが今回愈裡里に御厄介に成る事に決定しました金堤では現在稍

交通不便の點もあり

土地經營・金融事業等に於ても不自由の事情もあり今後全北に於ける私達の各種事業を一層充實し發展させる爲めにはモット交通の便利な地に支店を移轉さする事が必要であつたのです斯樣なる譯で今回裡里へ參りますのは

時勢が東拓

を裡里へ連れて行つたと申して差支無いでしよう然し乍ら金堤は全北に於ける私達の事業の搖籃の地で且つは十年來の古戰場でありますので金堤を去るに臨んでは頗る感慨無量なるものがあります

競賣信託創立

今回池田長兵衞、篠崎半助氏等發起となり京城に於て既設三競賣所を合同せしめ之を統轄する爲資本金五十萬圓を以て京城競賣信託株式會社なるものを目論見中昨四日淸香園に於て第一回發起人會を開催し創立委員として篠崎半助、中村[illegible]、三好和三郎、大島新作、増田三穗、陶源兵衞、富野繁一氏選任せられたり因に創立委員長は篠崎半助氏なりと

市中金融現況

不動産擔保を主とする市中金貸業者の貸出しは近時、土地家屋賣買の減退に伴ひ漸く尠く昨今閑散の狀況を呈するに至りたる模樣なるが二三千圓を限度とする手形貸出しは需要者著しく增加し出で金融業者の手元頗る繁忙を呈し居るが如し金利は相變らず前者は年二割乃至二割四分位にあれども後者は月三分を普通とし高きは三分五厘以上のものあり次に頼母子講の狀況を觀るに今尚ほ競落盛に行はれ普通五十圓掛にて三十一二圓迄に落札せられ殊に花柳界關係のものにありては競落最も激甚にして殆ど五掛ソコ〳〵に落札し居れるものあり叙上金貸業者の繁忙と頼母子落札額の低下とは共に市中金融の忙しき事實を語るものにして小口商品の取引漸く活氣付き來れり

綿布一段高

米棉の奔騰及内地高を入れたる朝鮮綿絲布界は炎暑中職工の怠業其他に因る荷薄の爲一段の高値を現し粗布に於ては一俵當り安値より三十圓方昂騰せり取引は極めて堅實にて一般に相當の利潤ありたるもの如し而して今後の眼先觀としては一時的の安値を現す事あるべきも押し目を以て買進むべきを以て尚一段の高値を出現するものと觀測せらる本日の成行相場左の如し

▲ミ一三百三十三圓▲金剛山二百八十三圓▲大砲二百七十二圓▲燈籠二百四十七圓▲扇面十六手二百八十九圓▲双女十手二百七十二圓▲飛犬十三ポンド十五圓七十錢▲鳥上二ポンド十四圓十錢▲色ツナシヌ吹笛ヤール三十九錢

産鐵着工期

産業鐵道會社にては豫ての計畫通り金泉尙里面間十四哩餘を第一期工區として工事に着手すべきが同區間は既に實測並に工事施行認可等濟了し居れるが右工區間中に打込杭の拔けたる箇所等ありて改測の要あるを以て東京より技術員十七名去月三十一日夜着鮮本月一日より改測に着手し居れるが十月中には改測し十一月工事請負入札を行ひ直に工事に着手すべく結氷の憂なきを以て着工の上は豫期の通り工事の進捗を見るべしと

東拓貸出高

東拓京城支店八月三十一日現在貸付金合計額は三百八十九口一千五十三萬九千圓餘にして前月末に比し約二百五十萬圓の減少なるが這は從來地利の關係上同支店に於て取扱ひたる他の支店分を夫々各支店に引繼を爲せる爲めにして同支店貸付分としては却て前年分より增加し居れり而して同社にては經濟界の現狀に鑑み拓殖並に事業資金共に積極的方針の許に貸付けを爲すべく居れる[illegible]きを以て九月以後に於ける貸出額は相當增加すべき見込なりと尙八月末貸付額を種類別に示せば左表の如し

種類	口數	貸付金額（千圓）
定期	一〇四	二、六三〇
年賦	二八四	七、六六四
代現貨	一	二四四
合計	三八九	一〇、五三九

仁取拂込決定

期日は十一月一日

【仁川】仁川米豆取引所未拂込金の徴收は曩に其筋の認可を得たりしが之が拂込に就ては去る二日の重役會に於て可決し期日を來る十一月一日と決定近く株主へ對し夫々通知を發すべし因に此の未拂込金の拂込は總て仁取增資の前提と見做されつゝあるが此總督府の認可を要すべき案件なるを以て遽に確信し得られざるも一つに會社重役の努力に俟つて早晩實現の期を見るべしとは妥當なる見解に似たり增資實現は多分明春なるべし

京畿粟作良好

大豆棉作も良好

京畿道管内に於ける本年の粟作棉作並大豆作の生育狀況及び收穫豫想高は左の如し

▲粟作（一）生育狀況播種以來天候順調にして八月上旬以來の旱天にも殆ど障害なく概して生育良好なり（二）收穫豫想高二十萬二千九十一石（三）前年收穫高との增減歩合五歩八厘增

▲棉作（一）生育狀況發芽の初期に於ける生育は頗る良好なりしも六月下旬より七月中旬に於ける氣候變調に依り多少生育を害し其後天候恢復して順調に復し生長頗に增進しまた八月上旬以來旱天持續の爲め再度の障害を被りたり如斯一進一退の有樣なりしも概して良好の方なり（二）收穫豫想高二百五十萬八千百八十七斤（三）前年收穫高との增減歩合[illegible]增

▲大豆作（一）生育狀況播種以來天候順調なりしも八月上旬以來旱天持續せる爲所に依りては多少萎凋せるものもあれども其被害は甚しからず生育概して良好なり（二）收穫豫想高五十四萬八千三十八石（三）前年收穫高との增減歩合一歩增

内外火災發展

内外火災保險業者が先年聯合協會を創設し各地の料金を協定せし當時非聯合の躍起なりし所日本共立火災保險會社は鑑みる所ありて協會を脱し海外の有力保險會社と再保險の特約を締結し所謂非協定側に立ち任意行動に出でたる結果内鮮共に優良の成績を擧げ一般の信用を得へる觀あり同社の專務原鎭吾氏は斯界の權威者として認めらるゝ丈けに非常の便宜しきものある結果ならんと

○朝鮮銀行券　三日現在左の如し

發行高	一〇二、九三二、〇二一
正貨準備	五三、一九八、五九三

○日銀帳尻　三日現在左の如し

發行高	一、一六三、三七三
正貨準備	一、二二〇、〇〇〇
保證準備	[illegible]
發行餘力	[illegible]
許出高	一〇一、八六五

金剛砂

▲京城の會社銀行員間の寫眞熱は非常なものである▲就中殖銀の行友會は中々熱心にやつて居るもので來る十三日には行友會員の第二回展覽會を催す相な▲會員中には隨分玄人跣足の連中もあり就中秘書課長の渡邊君の如きは一腕を持つて居る中々の逸品もある▲龜川君も寫眞道樂では人後に落ちぬ君も斯道には造詣が深いとの噂だ▲久原鑛業の小瀨君確信がある相なと聞く▲同君は毎朝五時に南山に登つて朝もやの晴れ間に佛國西教會の尖塔をレンズに收めて頗る悦に入つて居る▲同君の寫眞道樂の親玉とか同じ寫眞道樂でも僕の如く早起する者は夜遊びをしない證明になると▲果して如何と云ひたい

株式（五日）

現物市場出來値

銘柄		前場	後場
京取	寄	[illegible]	[illegible]
仁取	寄	二〇八、七〇	二〇五、〇〇
鮮銀	寄	一三〇、五〇	一三〇、四〇
同新	寄	四三、〇〇	四三、一〇
殖銀	寄	三三、五〇	三三、四〇
同新	寄	一六、五〇	一六、四〇
實銀	寄	九、七〇	九、七〇
商銀	寄	四八、〇〇	四八、〇〇
同新	寄	三三、五〇	三三、五〇
漢銀	寄	四一、五〇	四一、五〇
同新	寄	一〇、〇〇	一〇、〇〇
韓銀	寄	三九、〇〇	三八、〇〇
東拓	寄	六四、六〇	六四、五〇
同新	寄	三三、一〇	三三、〇〇
鮮土	寄	一三、一〇	一三、一〇
朝紡	寄	[illegible]	三三、〇〇
滿毛	寄	[illegible]	二一、〇〇
京電	寄	五七、〇〇	五七、五〇
同新	寄	四三、〇〇	四三、〇〇
電興	寄	七、七〇	七、七〇
朝紙	寄	一八、〇〇	一八、〇〇
朝郵	寄	三九、〇〇	三九、〇〇
殖鐵	寄	九、四〇	九、三〇
中鐵	寄	三七、五〇	三七、五〇
滿鐵	寄	三三、〇〇	三三、〇〇
同新	寄	二九、〇〇	二九、〇〇
東亞	寄	五〇、〇〇	四九、九〇
同新	寄	三三、〇〇	三三、〇〇
朝煙	寄	三六、〇〇	三六、〇〇
乙の部			
信託	寄	[illegible]	[illegible]
安取	寄	三三、七〇	三三、五〇
大新	寄	一三一、五〇	一三〇、五〇
上取	寄	七五、〇〇	七五、〇〇
新東	寄	一四〇、〇〇	一四〇、〇〇
短期取引			
京取	寄	[illegible]	[illegible]
仁取	寄	[illegible]	[illegible]
大新	寄	[illegible]	[illegible]
滿毛	寄	[illegible]	[illegible]
朝紡	寄	[illegible]	[illegible]
亞新	寄	[illegible]	[illegible]
拓新	寄	[illegible]	[illegible]

出來高　甲 七千九百四十枚　乙 二千九百五十八枚　計 一萬二千五百八十八枚（短期 四萬五百四十七枚　計 五萬九千八百十枚）

東京現株

銘柄	五日前場	三日後場
鮮銀	一二九、五〇	一二九、七〇
同新	四三、五〇	四三、八〇
殖銀	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]
東拓	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]
滿鐵	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]
東株	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]
同取	[illegible]	[illegible]
滿毛	[illegible]	[illegible]
朝紡	[illegible]	[illegible]

野球熱

龍山隊に於ける野球熱は從來[illegible]をなさしめたるに何れも約三四十名あつたので此際[illegible]殆ど冷却して其影を見ざる有樣[illegible]より第一、二、三期の兵を教育[illegible]九月末迄頗る多忙[illegible]なく隨つて對他的試合の如き先づ以て望みないだらうと

大阪株式

銘柄	五日前場寄付	五日前場大引	三日後場大引
大株	一七八、一〇	一七八、六〇	一七九、四〇
同新	一五三、四〇	一五三、一〇	一五四、五〇
郵船	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
商船	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘紡	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東紡	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日糖	[illegible]	[illegible]	[illegible]
上取	[illegible]	[illegible]	[illegible]

安東株式

○五日前場

	寄付	大引
安取	五一、五〇	五三、〇〇
先	五一、五〇	五二、四〇

前場は活躍

京取は休日前日中の猛進買と鮮人筋の買進みに後場七八圓方の暴騰を演じた機先今朝は愈々勢ひ乗りマバラの踏み物喚び短期は百四十錢の三圓六十錢高に寄り跡五十八圓あつたが此邊利喰物に七圓ドタの安値を覗き七圓二十錢處を揉み三十錢さ引け今週は十錢さ

二圓五十錢高

九圓八十錢と寄り跡二圓十錢の高値ありこの週りは短期の伸び惱みを示し七圓丁度さ引け九十錢さ今週の割りに頭重く寄付いて跡出來ずこの週りは八圓さ始め七圓六十錢さ弛み五十錢さ引け二十錢高

仁取は摺實見越

買物蜡集して短期二百五圓十錢さ小十圓方の大上げ之を高値とし五圓[illegible]

九圓方續騰

今週は二百八圓九十錢ドタに引け十錢さ寄つて

十二圓九十錢高

大新は阪地入電のボンヤリに短期百四十九圓九十錢さ寄り七圓の安値十錢さ引け

一圓七十錢安

安取は地場安を無視著に買上げられ今週五十二圓六十錢を寄り跡八十錢より三圓騰に掛げ三圓三十錢さ引け一圓二十錢高來週は五十二圓九十錢さ寄り三圓十錢さ進み一圓利喰に四圓より五圓ドタさ崩壊し跡四十錢に四圓丁度さ引け一圓五十錢高を示した

OSAKA STOCK EXCHANGE
大阪株式取引所仲買人
公債株式定期現物
注目スベキ大株　屢々大株ノ有利ナル[illegible]
BROKER. MIZOGUCHI & Co
大阪東區北濱二丁目　電話 本局 [illegible]
溝口恒三郎商店

出直か否か

安心買尙早

一般的買氣は容易に復興せず

京取は田中買を先驅さして鮮人筋の硬化さなり休日前より今朝にかけてマバラ買方の踏み上げた傾向なくせしめたが一旦惡目を見せた相場さて其の買物續かず引際何さなく伸び惱みて如何にも底力の頼り無さを思はしめ戻り相場も或は此邊行止まりにあらざるかさも見らるゝが買方さしては此邊にて再び挫折すれば痛手なる回復する迄に無理なる譯なれば無理にも今一歩踏み止まつて再度の煎れを取る位の覺悟は持つて居るものさ見ればならぬ買方主力は今日の處一概に[illegible]く買方が聲を大にし[illegible]

主要株歩ミ値段

銘柄	前場	後場
京取（今）	[illegible]	[illegible]
同（先）	[illegible]	[illegible]
安取（今）	[illegible]	[illegible]
同（先）	[illegible]	[illegible]

ウ　仁川米豆取引所仲買人　仲買店　電話 六一五番 六三三番

本日の受渡

銘柄	株數	代金
京取	三、五七〇	三七八、四二〇
仁取	[illegible]	[illegible]
大新	二三〇	[illegible]
安取	一、五一〇	[illegible]

株界片々

常勝系の[illegible]は[illegible]にて利益を[illegible]

後場は挫折

後場の京取は相場の伸び惱みを見越した買方の利喰急ぎさなり一面改正取引法も總督府の諒解困難にて所詮は此の三日取引に改めらるべしとの悲觀說起りて賣人氣を助長し短期十四圓七十錢に寄り三圓四十錢を安値に四圓十錢と戻しつ引け今週十四圓十五錢さ寄り跡四十錢に引けて來週十五圓廿錢に寄り七十錢を高値に四圓六十錢さ引け何れも三四圓方反落した

て相場を吊れば吊る
程扇面的に買擴けて行く

[illegible]

短期取引

	前場			後場		
京取	[illegible]			[illegible]		
仁取	[illegible]			[illegible]		
大新	[illegible]			[illegible]		

短期日歩

銘柄	賣方	買方
京取	一八、〇〇	一五
仁取	二〇、五、〇〇	一二
大新	一四、九、〇〇	一一
滿毛	二二、〇〇	一〇
朝紡	二三、〇〇	一〇
亞新	二〇、〇〇	一〇
拓新	二〇、〇〇	一〇

京城株式現物市場仲買（先名源太郎事）
源 南源兵衞商店
明治町二丁目八十七番地　電話 長六〇九番 一六三〇番　市場構内 一六三一番

深押は望めぬ

株界の前途に付て今日の株勢の利廻り乃至日の處[illegible]集中された事は[illegible]又一面今日の株勢に對する利廻りから考へて見ると株はモット買はれ[illegible]

米況（五日）

仁川期米

前場好勢

休日前阪地の止め高に刺戟されて二十四圓門まで内追ひせしも[illegible]

▲第一節　[illegible]
▲第二節　[illegible]
▲第三節　[illegible]
▲第四節　[illegible]
▲第五節　[illegible]

内地高雨乎

休日前に東京高さ相俟つて阪地は十七圓二十二錢さ新高値に沸騰して打止めしも引跡人氣は餘り變らざりしが今朝に到り突然當三十九圓六十九錢中三十六圓七十八錢先三十七圓九十五錢さ約七十丁の急騰を移すに到りし[illegible]

○五日前場

寄付	二九・六五、二九・九二、二九・九五
止値	二九・八五、二九・八七
高値	[illegible]
安値	[illegible]

正　仁川米豆取引所仲買人　仁川海岸町　仲買店　電話 一八二 長一八三番

大輸と順氣

[illegible]

不作より時勢買

作柄として面白くない況んや途の大災害さがあるから以上先高人に買はれつゝある現狀から見て[illegible]

布　仁川米豆取引所仲買人　布井仲買店　電話 三二〇 三五四番

後場强持合

▲第一節	先三十四〇五錢さ寄付
▲第二節	[illegible]
▲第三節	[illegible]

米界餘聞

本月の二日仁川穀物協會の樓上で開かれた協會總會で[illegible]

吉　仁川米豆取引所仲買人　吉金仲買店　電話 長八三番 八五番 長七六四番

東京期米

	五日前場先限	五日後場先限
寄付	三七・三一	三七・二一
二節	[illegible]	[illegible]
三節	七・〇〇	[illegible]
四節	[illegible]	[illegible]
五節	[illegible]	[illegible]
六節	[illegible]	三五

仁川府海岸町三丁目　○桑野仲買店　電話長三九番

大阪期米

	五日前場	五日後場
當寄	三五・六九	三五・五一
止め	三五・四六	[illegible]
中寄	三六・〇八	三六・七〇
止め	三六・六〇	[illegible]
先寄	三七・九五	三七・八一

兵庫期米

	五日前場	五日後場
寄付	[illegible]	三七・六三
一節	八一	八四
二節	八一	九一
三節	七一	九三
四節	七一	七九
五節	八一	[illegible]
六節	七一	[illegible]
七節	七一	[illegible]
八節	六一	[illegible]
九節	七一	[illegible]
止め	[illegible]	[illegible]

大阪三品

○五日前場寄付　綿紗紡三十八番八分の一　米棉休會

限月	前場大引	
九月限	[illegible]	[illegible]
十月限	[illegible]	[illegible]
十一月限	[illegible]	[illegible]
十二月限	[illegible]	[illegible]
一月限	[illegible]	[illegible]
二月限	[illegible]	[illegible]

釜山正米

休日明大阪期米暴騰を入れ正米筋に買氣現はれ一圓高の處北三等籾强調を呈し三十五百叺の商內ありたり四十錢同神力二十九圓十錢所にて三四十錢高の十四圓七十錢所にて五十叺の商内ありたり（五日）大豆は買物少なきも正米高に連れ

仁川正米

定期の反撥と共に物米筋の買氣旺盛就し三等合格二十八圓五十錢唱へなり

大正九年度決算報告
（自大正九年七月一日　至大正十年六月三十日）

貸借對照表

資本金 五百萬圓　諸積立金繰越金七拾九萬四千六百拾六圓參拾貳錢

未拂込株金 三、七五〇、〇〇〇・〇〇
現金 [illegible]
郵便振替貯金 [illegible]
銀行預金 [illegible]
有價證券 [illegible]
不動産 [illegible]
什器 [illegible]
代理店 [illegible]
未收利息 [illegible]
未收再保險料 [illegible]
未收保險料 [illegible]
借家 [illegible]
計 [illegible]

負債ノ部
株金 [illegible]
責任準備金 [illegible]
代理店保證金 [illegible]
未拂再保險料 [illegible]
利益金 [illegible]
合計 [illegible]

損益計算
收入 [illegible]
支出 [illegible]
利益 [illegible]

總益金 [illegible]
之ヲ差引スルコト左ノ如シ
法定準備金 [illegible]
特別準備金 [illegible]
重役賞與金 [illegible]
株主配當金（年八分） [illegible]
次年度へ繰越金 [illegible]

右之通候也
大正十年九月
東京市京橋區銀座一丁目六番地
日本共立火災保險株式會社

專務取締役 原鎭吾
取締役 門野重九郎
取締役 太田淸藏
取締役 今井五介
取締役 松下久治郎
取締役 青木兵五郎
取締役 佐藤政五郎
取締役 中松盛雄
取締役 南部[illegible]
監査役 菊池太郎
監査役 正田利一
監査役 [illegible]
監査役 池田[illegible]
監査役 瀧信四郎
相談役 男爵 大倉喜八郎

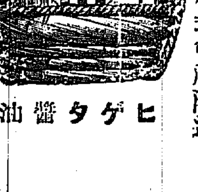
追テ取締役原鎭吾門野重九郎太田淸藏ノ三氏任期滿了ニ付キ改選ノ結果何レモ再選重任シ又監査役[illegible]氏ノ辭任ニ付キ[illegible]氏選任就任致候

新入荷
壁紙　英國製　八種百五十本入
見本御一報次第送呈す
上　村上商店　京城本町一丁目
上　村上商店出張員　京城南大門通二丁目

警告
今回は[illegible]記念ながら成功せず然し資金は相當に御取扱金に逐
第十一回上海取引所株責任賣買報告
乙種特別扱百圓に付十五圓八百圓分には百五十圓
第十二回責任保證 上海株賣買開始
期間 大正十年九月十日より 締切九月十日
資金十株に付百圓百株に付八百圓
定額の利益を得らるべし
[illegible]
大阪市北區[illegible]十八
石井正忠商店　相談役 男爵 林忠一
各地支店出張所　東京、伏見、神戸、福知山、廣島、岡山、下關、名古屋、福岡、高松、金澤、松江
警告 御申込は其店御の信用と店主の人格を充分御取調の上案要と存候[illegible]

内科
胃腸病
京城本町一丁目
石川醫院
電話 一三九〇番

代理店　京城明治町二丁目　株式會社山邑酒造京城支店　電話長八四九番・一四五四番　振替貯金口座京城七五番



自動車
改造修理　諸機械製作
和田鐵工所
京城岡崎町五番地　電話取次京城一〇三番
前東京瓦斯自働部技手長
主任 川端忠四郎

[illegible]に於ける滿洲北部及び九州南方に低氣壓通過しつゝあり全鮮晴天の所多くも東岸の南部は雨天に化

小説 浮草(44)

入江新八 作　川早苗 畫

女ごゝろ(七)

道代は、突然、秋子に手を握られて引き寄せられたので吃驚した。反逆に秋子先生が斯う云ふことをなさらうとは思はなかつた。それも大勢人目のあるところで、突然に自分を抱擁するやうなことを……と思つて道代は離かぬわけには行かなかつた。彼女は羞恥を感ずるよりも寧ろ秋子の突秘な行動にびつくりした。

『あら、先生……』

と云つて、その引き寄せられた腕に縋つてゐた。

『いよー、どうも……』

河村が頓興な聲で、秋子が道代を抱擁した姿を囃し立てたので、周圍の女達は思はず笑聲を上げた。皆んなは一度に何とも云へない一種の野卑した叫聲とも笑聲ともつかぬ聲を發したのだつた。

『似合つて?』

秋子はもう一度強く道代を抱きしめて云つた。

『イヨー、ご兩人……』

河村はまた、さう囃し立てた。

『姉妹のやうに見ゑて?』

秋子は云つた。

『否ゐ、先生……』と誰かが云つた。それは豐子では確かに無かつた。一番隅に坐つてゐた松山富子らしかつた。

『さう?何と思はれて?』

『矢張、先生と、お弟子ですわ』

さう云つたのは豐子だつた。

『さう?戀人とは見ゑなくつて?』

『見ゑます〳〵、大見ゑです』

と河村は手を叩いた。また笑ひ聲が上つた。

『顯さん、さう見ゑて?』

秋子は道代を抱いて、顯に聞いた。

『フム……少し變だな……』

と彼は苦笑しながら。

『だが、面白い姿勢ですね』と云つた。そして眞面目な顔をして、河村を見て。

『河村君、君、どうして、あの女を知つたの?』

『僕?僕は幼な馴染さ』と河村は一寸と僞を云つた。

『フーム、昔日から知つてるのか?』

『さうさ、子供の時から』

『だつて、道代さんは朝鮮から來たんだつてぢやないかね』

『隣よ。顯さん、河村さんと此の人は一緒の宿屋に居たんです。それで知己になつて私の許へ來たんです』

と秋子は云はうと思つたが、不圖、彼女は思ひ止まつて、さういふことは止めた。そして靜かに道代を放して、笑ひ乍ら自分の席に返つた。

秋子の突飛な行動は、ほんの一場の串戯のやうに打消されてしまつた。秋子は、急に嚴肅な顔をして、

『一寸私失禮しますよ。彼室で晩餐の出來る迄、皆で遊んでみて下さい。ね』

さう云つて秋子は机に向つた。それで一同は、その部屋を避けて、若い女達の勉强室の方へドヤ〳〵と行つた。

秋子はペンを執つて物を書き始めたが、とても書けさうで無かつた。考へを纏めることさへも出來なかつた。彼女は、今の一場の出來事に就てのいろ〳〵な解釋が頭一杯になつてゐた。彼女はその事を考へるより外、何も出來ない。

『さうだ、私はあの女を自分の家に置いてやることを承諾した以上、今更、自分の嫉妬心からあの女を遠ける事は出來ない。それよりも私はあの女は好きだ。私自身にあの女に魅を感じる。顯のあの女を奪られることは何うにしても私は嫌だ。家に置いて遠廻しに監視してゐる方が一番だ……でも、顯の畫室へあの女をやることを私は止め立てするやうなことはしない、そんな卑劣なことは私はしない』

秋子は、そんなことを考へて時間を費やした。やがて彼女は起つて庭へ出た。近くの樹立の下を河村が獨りで籐椅子にかけてゐたのを見つけて、その方へ歩いて行つた。

『河村さん、あなたはあの女と今ドンナ關係にあるのですね?』

斯う突然に訊いてゐた。

名葉 松の葉 ドキワ謹製 發賣元 合資

齒科專門 保齒醫院 漢江通り京龍館裏 院長 齒科醫學士 ○瀬○○

佐々木 胃腸病院 京城明治町一丁目 入院隨意 電話一六五九番

物理療法 京城日報代理部 (電話二七四八)
施術時間は毎日午前九時から午後四時迄
△難病に惱む人は速かに物理療法を施されん事を御勸めします 慢性の難病でも速かに快癒するものが澤山あります
△神經痛やリウマチス、脚氣や淋病性關節炎、睾丸炎、淋尚性或はリウマチス性心臟病等は勿論のこと、慢性の胃腸病や腎臟炎や婦人病などには卓効が有ります
△癌腫ルイレキ腋臭瘡疵や水蟲の如き頑固な皮膚病なども薬の効験ない病も全癒します。

小曲　小林龍雄 選

ある月の夜に　みねゆき二郎

美しい緑野の果てを
薔薇色の月が
今宵も昇らうとしてゐる
だのに 戀人の君は
鈴蘭草ばかり探してゐて
ちつとも私を思はない

又ある夜に　同人

逢ひに來いとの
やさしい謎が
青い灯が
河邊の家で
ちらりほらりと
揺れてゐる

戀の雨　澤南夢

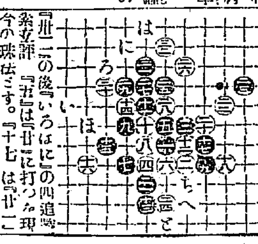
しと〳〵と冷たい雨が
降るよ、降るよ
私の胸にも降つてお呉れ
そしてお前を涙にしよ
私の胸は熱いから
冷いお前も熱くなろ
はかない生に……サア誰と
くまうか熱いこの涙

森内小兒科病院 京城明治町二ノ七五 (電一六八三) 醫學士 森定吉

▲小生は英語の會話をならいたいのですが適當な先生を御紹介下さるか個人教授をしてくれる外國人を御存知の方はございませんか御存知の方は一寸本欄までお知らせ下さい(英語會話熱心生)▲御京城にも大分愛刀家がいますよ京城の主催で刀劍會を催して下さい京城の愛刀家諸氏の是非御願します(愛刀家)▲記者様の内に中古ピアノ(三百圓より四百圓位)御ゆづり下さる方はございませんか又御兆にて初心者に御教へ下さる御婦人はございませんか(本町岡田ゆき子)▲本町勤務の官吏ですが公暇を利用して準備を爲め陽覽なる六疊位一間借用家族的に御世話願いたいのです御都合に依り賄は他にて辨じてもよろしい(希望者)▲寛勵町五一二ヱ生宛よ小生宛御委細御願いいたし(困却生)▲御何卒衛術通知あれ(横戒郵便所留置エア生)▲階下四疊半二疊二間御夫婦位の人に貸したし(初音町八四北條)▲私は歌の會に入會致し度ひと思つて居ますが市内に短歌會がありますなら木らんまでお知らせ願ひます(歌好生)▲エス子さん(本紙讀者)と記者欄にて相當な家庭から四五六輔まれてゐますす御出で下されば何時でもお世話します(不肝光永)▲私は今年十七歳のもので注田は學校へ通つて居升が夜間使ひ下さる方は御座ませぬか御座しまら茂た御手數乍ら本欄迄御知らせ下さいませ(仁川ケ一ヵ一生)

鮮內聯珠手合 通信戰譜(五)

先勝 高橋素玄 山川一二(新州)



『廿一』の後『いろはに』の四追勝を得べく白『ほ』に防がば黒『十八』に見せ白廿八『廿四』へ『二十』に打ち『廿四』を防がば『廿九』『廿七』と打ち本譜と同様の勝形となる。『廿五』は『廿二』に打つが理に見せ『十七』は『十八』に延びて後『ほ』に來らば黒『廿四』の後容易なり。『十八』大悪手なり『廿八』に下さば黒困難。『廿七』好珠

▲附記 檢勝案『九州』落選案の『十二』は呼珠にして正解案第二圖の『十五』の呼珠に非る理由が特れ越されし向あれば該念次に說明す ▲呼珠とは次に珠を打ちて追手なき珠にして其球自らは三叉は四の如き追手或は是等と同等の効力ある合み追手に非ざるものをいふ…▲右の定義により落選案の『十三』は呼珠なり白は此以合自分に引き手なき故に陸方なき『一四』より先手で續いて進みてもよき所なり正解二圖の『十五』は其後に直に『ぱ十』の四追勝を合め故に白は防がねばならぬ得ず是が合み追手といふ

廣告

白色美顔水

婦人がたの新しい御要求にぴつたり適つた新化粧料!!

便利と云つて

これ程便利なものは在りますまい。從來は一寸お化粧なさるにも、白粉の外に俗別のものが要つたり、色々の仕度や手數が要つたのですが、白色美顔水なら

これ一品丈で

澤山で、お化粧下や化粧水が無くても濟み、別段の仕度も手數も要らず、この樣な皮膚の方にも、從來と違つた新しい美しさを見せるお化粧ができますので

一寸用事の間

にも、手抜くお顔が整へられますから、家庭の婦人方のお忙しい時、又は急いでお出かけのやうな時には、どんなに便利とお思ひになりますでせう!ですが

唯べたくと

白くはかり附くやうでは、幾ら便利でも感心できませんですが、白色美顔水のお化粧美は相當に白くありながら、少しも態らしくなく美しい生彩があつて

何となく人柄

で優美な化粧ですから、從來の唯々白くて態とらしく、餘り品の宜しくないお化粧とは條程違つた趣のある美しさが、顔に活々と現れます。それで從來は

色の白くない

方や、皮膚の荒れ性の方や脂肪の多い質の方は殊にお化粧にはお困りで、隨分苦心をなさつても中々美しく上らなかつたのですが、それと同じく平生餘り

化粧馴れぬ方

は何かの際、いざお化粧と云ふ時には、皮膚が白粉に馴れてゐないため旨く附きませんので、之れに大變お困りになりましたが、白色美顔水ができてからは

少しの心配も

苦心もなく、皮膚の良い方、色の白い方、お化粧に馴れてゐる方々と同じ樣に、優美で人柄な化粧美を現はすやうになつたのであります。この白色美顔水は

桃谷藥學博士

の化粧品の研究所=桃谷研究試驗所で、從來の白粉と違つた本當の美しさを現はす化粧料で而て使つて殊に便利なものが是非必要と考へて創製したのですが

婦人方のお考

にも丁度之が一致しましたので白色美顔水は忽ち各御家庭の必要品と成り、此頃では亦附屬品に近い愛嬌と實用を兼ねた品として隨分澤山使はれて居ります

▲桃谷研究試驗所創製▼

[illegible]